

---

# 令和4年度 第1回岩手県大規模事業評価専門委員会

日 時 令和4年6月13日（月）13:30～17:00

場 所 岩手県水産会館 5階 大会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 挨拶

加藤専門委員長

### 3 議 事

(1) 令和4年度専門委員会の開催スケジュール等について

(2) 大規模施設整備事業の事前評価について<諮問審議>

・紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）

(3) 大規模公共事業の再評価について<諮問審議>

・岩崎川広域河川改修事業（紫波町、矢巾町）

・閉伊川総合流域防災事業（宮古市）

(4) 第2回専門委員会（現地調査）について

### 4 閉 会

## 岩手県大規模事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
加藤 徹	宮城大学 名誉教授	農業土木 農村計画	専門委員長
狩野 徹	岩手県立大学社会福祉学部 副学長	都市計画 建築計画	副専門委員長
小井田 伸雄	岩手県立大学総合政策学部 教授	経済学	欠席
竹内 貴弘	八戸工業大学大学院工学研究科 教授	海洋工学 水工学	
松木 佐和子	岩手大学農学部 講師	森林 環境	
松山 梨香子	一般財団法人岩手県建築住宅センター 一級建築士	建築	Web
八重樫 健太郎	北光監査法人 公認会計士	企業会計	
山本 英和	岩手大学理工学部 准教授	地震工学	

(敬称略)

令和4年度第1回大規模事業評価専門委員会  
配付資料一覧

- 資料 No. 1 令和4年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）
  - 資料 No. 2 大規模事業評価諮問書（写）
  - 資料 No. 3 令和4年度大規模事業評価地区 位置図（R4.6諮問）
  - 資料 No. 4 大規模事業評価関係資料
- 【事前評価】**
- ・紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）
- 【再評価】**
- ・岩崎川広域河川改修事業（紫波町、矢巾町）
  - ・閉伊川総合流域防災事業（宮古市）
- 資料 No. 5 令和4年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程（案）





## 令和4年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）

## 1. 審議案件（予定）【3件】

## 【事前評価】

紫波警察署庁舎等整備事業【県警本部】  
（紫波町）

## 【再評価】

- ① 岩崎川広域河川改修事業【県土整備部】  
（紫波町、矢巾町）
- ② 閉伊川総合流域防災事業【県土整備部】  
（宮古市）

※ 新たに事前評価や随時再評価の必要が生じた事業があった場合には、上記案件以外にも審議をお願いすることがあります。

## 2. 報告案件（予定）【1件】

## 【事後評価】

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）一般国道106号 宮古西道路  
【県土整備部】（宮古市）

## 3. 年間スケジュール（予定）

時 期	専門委員会等の内容	事前評価 （審議）	再評価 （審議）	事後評価等 （報告）	備 考
6/13（月）	第1回専門委員会	○	○	—	事前評価/再評価 諮問審議 パブリックコメントの実施
7/21（木）	第2回専門委員会（現地）	○	○	—	継続審議・現地調査
8/24（水）	第3回専門委員会	○	○	○	継続審議・答申案審議 事後評価報告
9/15（木）	第4回専門委員会	○	○	—	予備日
（令和5年） 2月上旬	第5回専門委員会	—	—	—	R5年度 スケジュール等

※ 現時点での予定であり、審議等の進捗状況に応じて、審議回数は増減する場合があります。



# 諮問書 (写)





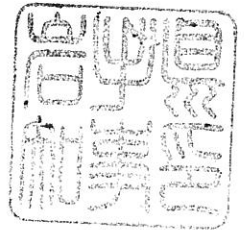
政 第 4 4 号

令和 4 年 6 月 7 日

岩手県政策評価委員会

委員長 加藤 徹 様

岩手県知事 達 増 拓 也



大規模事業評価について（諮問）

政策等の評価に関する条例（平成 15 年岩手県条例第 60 号）第 10 条第 1 項の規定に基づき、別紙の大規模公共事業に係る再評価について意見を聴きたいので、評価調書を付して諮問します。

(別紙)

大規模公共事業再評価対象事業

番号	担当部名 担当課名	事業名	市町村名	事業計画			再評価 の要件
				着手 年度	完了 予定 年度	総事業費 (百万円)	
1	県土整備部 河川課	岩崎川広域河川改修事業	紫波町・ 矢巾町	H4	R19	20,414	③
2	県土整備部 河川課	閉伊川総合流域防災事業	宮古市	S39	R14	5,730	③

※再評価の要件：

- ① 事業に着手した年度から起算して5年度内に未着工の事業
- ② 事業に着手した年度から起算して10年度内に完了が見込まれない事業
- ③ 再評価を行った年度の翌年度から起算して5年度又は10年度内に完了する見込みがない事業（再々評価、再々々評価）
- ④ 事業の準備又は実施計画に係る調査に要する費用が予算に計上された年度から起算して5年度内に事業に着手する見込みがない事業（地域高規格道路及びダム事業に限る）
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、事業計画の重要な変更等により、再評価を実施する必要があると判断した事業（随時再評価）
- ⑥ 国の補助に係る事業の評価に関して国から別に指針等が示された場合で、当該指針等に従って評価を実施する必要があると判断した事業



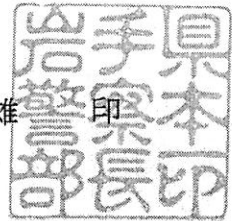
岩警第 626号

令和4年6月7日

岩手県政策評価委員会

委員長 加藤 徹 様

岩手県警察本部長 森下 元雄



大規模事業評価について（諮問）

政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）第10条第4項で  
準用する同条第1項の規定に基づき、別紙の大規模事業に係る事前評価につい  
て意見を聴きたいので、評価調書を付して諮問します。

担当：岩手県警察本部

警務部警務課企画係長 佐藤 敦

警務部会計課施設企画第一補佐 柏木 尚人

TEL：019-653-0110（内線2653/2262）

(別紙)

大規模施設整備事業事前評価対象事業

番号	担当部名 担当課名	事業名	市町村名	事業計画			事前評価 の要件
				着手 年度	完了 予定 年度	総事業費 (百万円)	
1	警察本部 会計課	紫波警察署庁舎等整備事業	紫波町	2023 (R5)	2030 (R12)	2,931	基本構想後





令和4年6月7日

岩手県大規模事業評価専門委員会  
専門委員長 加藤 徹 様

岩手県政策評価委員会

委員長 加藤 徹

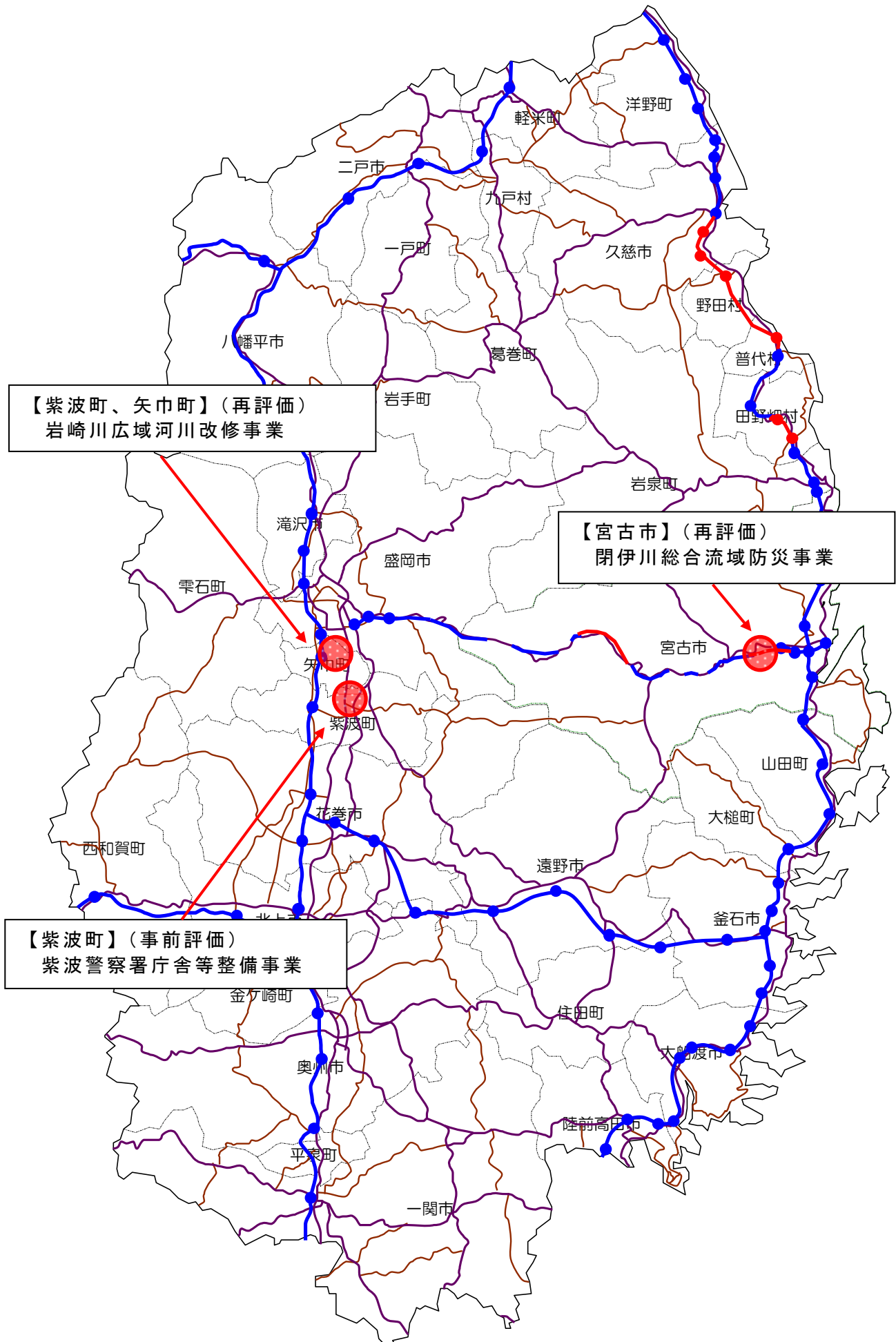


大規模事業評価に係る諮問について

政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）第10条第1項及び同条第4項で準用する同条第1項の規定に基づき、別添のとおり岩手県知事及び岩手県警察本部長から、大規模公共事業に係る再評価及び大規模施設整備事業に係る事前評価について諮問がありましたので通知します。



# 大規模事業評価地区 位置図 (R4.6 諮問)





## 大規模事業評価関係資料

## 大規模施設整備事業 事前評価

番号	担当部局等	事業名	地区名等	ページ
1	岩手県警察本部 会計課	紫波警察署庁舎等整備事業	紫波町	1～32

## 大規模公共事業 再評価

番号	担当部局等	事業名	地区名等	ページ
1	県土整備部 河川課	岩崎川広域河川改修事業	一級河川北上川水系岩崎川	33～56
2	県土整備部 河川課	閉伊川総合流域防災事業	二級河川閉伊川水系閉伊川	57～80



# 大規模施設整備事業事前評価調書の概要

## (紫波警察署庁舎等整備事業)

担当部課：警察本部会計課

### 1 事業概要（所在市町村：紫波町）

- 事業目的：老朽・狭隘化が著しい紫波警察署と交通機動隊本隊の2庁舎及び証拠品センター（新設）を効率性、経済性の観点から一体整備し、施設の機能向上と防災拠点としての機能維持による治安基盤の強化を図り、事故や犯罪が少ない安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。
- 事業内容：建設予定地及び施設の概要
  - ・建設予定地 紫波町桜町字大坪51番2ほか 約8,230㎡
  - ・施設の概要 鉄筋コンクリート造 4階建（警察署、交通機動隊）  
※2庁舎は別棟とせず、合築により整備する。  
延べ床面積 約4,336㎡（庁舎棟、車庫棟、付属棟合計）  
交機隊訓練コース 約2,250㎡
- 事業期間：R5年度～R12年度
- 総事業費：2,931百万円
- 経緯：
  - S47年3月 交通機動隊本隊・直轄隊庁舎を建設
  - S49年3月 紫波警察署庁舎を建設
  - H26年3月 自治体の合併など治安を取り巻く環境が大きく変化する中、限られた警察力を最大限有効活用するために必要な対応方策を検討するため、岩手県警察 警察署再編等長期構想策定委員会を設置
  - H26年12月 紫波警察署庁舎などの建て替えを盛り込んだ岩手県警察 警察署再編等長期計画案を策定
  - H27年12月 紫波警察署庁舎の建て替え、交通機動隊本隊・直轄隊庁舎の移転・併設と証拠品センターを併設すること等を盛り込んだ岩手県警察 警察署再編等長期計画を決定
  - R3年3月 紫波警察署等庁舎整備事業基本構想を策定
  - R3年11月 PPP/PFI手法導入評価会議において、従来手法による実施検討が適当と決定

### 2 事業の必要性等

- 紫波警察署庁舎は、S49年に建築され築48年が経過し老朽・狭隘化が著しく、今後、治安基盤としての機能維持が困難であることから、現在必要とされる警察署の機能を満たした庁舎を整備する必要がある。
- 交通機動隊本隊庁舎は、S47年に建築され築50年が経過し老朽・狭隘化が著しいほか、敷地が狭隘なため訓練スペースも不足しており、また、再三にわたり大雨による水害に見舞われ災害警備出動に支障を来すなどしているため、早期に移転整備する必要がある。
- 証拠品センターは、人を死亡させた罪の公訴時効の撤廃及び延伸に伴い、長期にわたる証拠品の保管が必要となり、各警察署での保管に量的な限界が生じることから、各警察署の証拠品を一括して保管管理する専用施設として整備する必要がある。

### 3 環境保全と景観への配慮

- 施設の高断熱化、冷暖房設備の負荷軽減及び消費電力の少ない設備機器の使用、自然エネルギーの活用などによりCO<sub>2</sub>の排出を抑制する。
- 周辺の街並みと調和に配慮し、地域に親しまれる施設とするよう計画している。
- 希少な動植物の生息が確認された場合は、必要に応じて生息環境を保全する取組を実施する。

### 4 総合評価

紫波警察署は、警察法その他関係法令により「紫波郡内における安全・安心」を確保するために設置しているものである。しかし、施設の老朽・狭隘化が著しいため警察署庁舎に備えるべき標準的な設備が整っておらず治安基盤としての機能維持が困難な状況にある。

交通機動隊は、洪水浸水想定区域内に所在しているため治安基盤としての機能を喪失する危険性があることから、移転整備の必要に迫られており、「岩手県警察 警察署再編等長期計画」に基づき、一体整備に向けた取組を確実に推進することとしている。

以上のことから、事業の効率性や施設計画の妥当性の観点及び環境や景観への影響の観点からも、支障となる要因は無いことから、事業実施が妥当であると判断した。



施設の名称	紫波警察署、交通機動隊本隊・直轄隊、証拠品センター		
担当部課名	警察本部会計課	建設予定地	紫波町
県の計画との関連	計画：いわて県民計画（2019～2028） （政策）V安全 （政策項目）No.28 事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます （具体的な推進方策）治安基盤の強化		
事業概要	(1) 事業目的 老朽・狭隘化が著しい紫波警察署と交通機動隊本隊の2庁舎及び証拠品センター（新設）を効率性、経済性の観点から一体整備し、施設の機能向上及び防災拠点としての機能維持による治安基盤の強化により、事故や犯罪が少ない安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。		
	(2) 事業の特徴 紫波警察署庁舎の建て替えに合わせ、交通機動隊本隊・直轄隊（移転）並びに証拠品センター（新設）を一体的に整備することにより、県財政負担の軽減のほか、施設の機能向上と治安及び防災拠点としての機能維持・強化を図る。		
	(3) 事業目標 ア 目標		
	イ 目標の選定理由及び目標値の設定根拠 R3年に策定した「紫波警察署等庁舎整備事業基本構想」において想定している竣工年度をもとに設定した。		
(4) 事業実施の背景となる社会経済情勢 安全・安心に暮らせるまちづくりを推進することについては、地域における防犯活動促進のほか、消費生活相談体制や治安基盤の強化などの取組を進めており、刑法犯認知件数は減少傾向にあるほか、全国に比べ高い割合だった無施錠被害率も一定の改善が見られ、特殊詐欺被害も減少傾向にある。一方で無施錠による盗難被害や特殊詐欺の予兆と思われる事案が後を絶たないなど、引き続き県民の防犯意識の向上を図る必要がある。 また、交通事故についても発生件数・死傷者数とも減少傾向にあるものの、依然として全事故に占める高齢者の割合が高いことなど、引き続き抑止対策を推進する必要がある。 さらに、異常気象などによる自然災害が頻発しており、災害発生時において治安・防災拠点となる警察施設の機能継続及び強化の必要がある。			

	<p>(5) これまでの経緯</p> <p>S47年3月 交通機動隊本隊・直轄隊庁舎を建設</p> <p>S49年3月 紫波警察署庁舎を建設</p> <p>H26年3月 自治体の合併など治安を取り巻く環境が大きく変化する中、限られた警察力を最大限有効活用するために必要な対応方策を検討するため、岩手県警察 警察署再編等長期構想策定委員会を設置</p> <p>H26年12月 紫波警察署庁舎などの建て替えを盛り込んだ岩手県警察 警察署再編等長期計画案を策定</p> <p>H27年12月 紫波警察署庁舎の建て替え、交通機動隊本隊・直轄隊庁舎の移転・併設と証拠品センターを併設すること等を盛り込んだ岩手県警察 警察署再編等長期計画を決定</p> <p>R3年3月 紫波警察署等庁舎整備事業基本構想を策定</p> <p>R3年11月 PPP/PFI 手法導入評価会議において、従来手法による実施検討が適切と決定</p>																																		
	<p>(6) 事業の内容</p> <p>ア 事業主体 岩手県</p> <p>イ 施設の概要及び規模（施設延べ面積、敷地面積等）</p> <p>(7) 建設予定地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紫波町の現在地及び宿舍用地（県有地） ※同一敷地内の宿舍を解体撤去</li> <li>隣接する町有地（旧紫波消防署跡地）</li> </ul> <p>(4) 敷地面積 約 8,230 m<sup>2</sup></p> <p>(5) 施設規模（想定＝基本設計前）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延床面積</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庁舎棟</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>4階</td> <td>3,074 m<sup>2</sup></td> <td>警察署、交機隊</td> </tr> <tr> <td>車庫棟（警察署）</td> <td>鉄骨造</td> <td>2階</td> <td>854 m<sup>2</sup></td> <td>車庫、倉庫、証拠品センター</td> </tr> <tr> <td>車庫棟（交機隊）</td> <td>鉄骨造</td> <td>1階</td> <td>367 m<sup>2</sup></td> <td>車庫、機材庫</td> </tr> <tr> <td>付属棟</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>41 m<sup>2</sup></td> <td>ゴミ置場、駐輪場、受水槽室</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>4,336 m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交機隊訓練コース</td> <td>外構</td> <td>—</td> <td>2,250 m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ スケジュール（基本構想段階でのスケジュールであり、変更もあり得る。）</p> <p>(7) 計画期間 R5年度～R12年度</p> <p>(4) 今後のスケジュール</p> <p>R5年度～R6年度 基本設計・実施設計</p> <p>R6年度 用地購入</p> <p>R7年度 宿舍解体</p> <p>R7年度～R9年度 建築工事（第1期）、警察署運用開始</p> <p>R9年度 既存施設解体（警察署）</p> <p>R10年度 建築工事（第2期）、交機隊運用開始</p> <p>R11年度 既存施設解体（交機隊）</p> <p>R12年度 用地測量等（交機隊跡地）</p>	区分	構造	階数	延床面積	備考	庁舎棟	鉄筋コンクリート造	4階	3,074 m <sup>2</sup>	警察署、交機隊	車庫棟（警察署）	鉄骨造	2階	854 m <sup>2</sup>	車庫、倉庫、証拠品センター	車庫棟（交機隊）	鉄骨造	1階	367 m <sup>2</sup>	車庫、機材庫	付属棟	—	—	41 m <sup>2</sup>	ゴミ置場、駐輪場、受水槽室	合計			4,336 m <sup>2</sup>		交機隊訓練コース	外構	—	2,250 m <sup>2</sup>
区分	構造	階数	延床面積	備考																															
庁舎棟	鉄筋コンクリート造	4階	3,074 m <sup>2</sup>	警察署、交機隊																															
車庫棟（警察署）	鉄骨造	2階	854 m <sup>2</sup>	車庫、倉庫、証拠品センター																															
車庫棟（交機隊）	鉄骨造	1階	367 m <sup>2</sup>	車庫、機材庫																															
付属棟	—	—	41 m <sup>2</sup>	ゴミ置場、駐輪場、受水槽室																															
合計			4,336 m <sup>2</sup>																																
交機隊訓練コース	外構	—	2,250 m <sup>2</sup>																																

(7) 整備事業費と収支計画

ア 事業費

(百万円)

総事業費	用地購入費	建築工事費	解体工事費	設計費	その他
2,931	95	2,279	232	167	158

イ 年度別事業計画

R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
67	209	100	1,202	1,016	292	44	1

ウ 財源

国庫支出金	その他特定財源	一般財源	県債
437		528	1,966

事業概要

エ コスト縮減への取り組み

- ・ 警察署、交通機動隊及び証拠品センターの各庁舎を同一敷地内に集約し、一体的に整備することにより建設費用及び維持管理費用を抑制する。
- ・ 警察署等現在地（県有地）を活用し、総事業費を抑制する。
- ・ 現交通機動隊（県有地）の敷地売却による収入財源が見込まれる。
- ・ 耐久性に優れた材料を躯体・外装・内装・設備材料等に採用するとともに、躯体寿命に比べて耐用年数の短い設備機器類は、日常の維持管理や将来の更新が容易に行える計画とし、施設の総合的な長寿命化を図ることによりライフサイクルコストを抑制する。

概要

オ 収支計画

整備事業費に関連しないものであるが、通常業務における収支見込を算出した。

- ・ 収入見込 岩手県公安委員会の管理に属する事務手数料（道路交通法関係手数料等）
- ・ 支出見込 人件費、管理運営費（消耗品費、光熱水費、施設維持管理費等）
- ・ 収支計画 (千円)

区分	内訳	R9年度
収入	手数料	25,907
	計	25,907
支出	人件費	700,299
	管理運営費	40,353
	計	740,652

※警察署運用開始初年度。

※収支は、令和10年度以降も同水準で推移する見込み。

事業の必要性	<p>(1) 事業実施の必要性</p> <p>ア 県計画との関連</p> <p>いわて県民計画（2019～2028）の政策項目No.28「事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます」における主な取組内容として、「治安対策を推進し、安全・安心なまちづくりを進めるため、地域の実態に即した体制の見直しと治安維持拠点である警察施設の整備を進めるとともに、警察装備等の整備、交番相談員の配置による交番機能や、事件・事故や災害等の発生現場における早期情報収集機能の充実を図るなど、治安基盤を強化します。」としており、本事業も老朽・狭隘化した警察施設を機能向上させて建て替え整備することで、治安基盤の強化を図るもの。</p> <p>イ 課題や県民のニーズとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紫波警察署庁舎は、S49年に建築され築48年が経過し老朽・狭隘化が著しく、今後、治安基盤としての機能維持が困難であることから、現在必要とされる警察署の機能を満たした庁舎を整備する必要がある。</li> <li>・ 交通機動隊本隊庁舎は、S47年に建築され築50年が経過し老朽・狭隘化が著しいほか、敷地が狭隘なため訓練スペースも不足しており、また、再三にわたり大雨による水害に見舞われ災害警備出動に支障を来すなどしているため、早期に移転整備する必要がある。</li> <li>・ 証拠品センターは、人を死亡させた罪の公訴時効の撤廃及び延伸に伴い、長期にわたる証拠品の保管が必要となり、各警察署での保管に量的な限界が生じることから、各警察署の証拠品を一括して保管管理する専用施設として整備する必要がある。</li> </ul> <p>(2) 県が実施（関与）する必要性</p> <p>警察署は、警察法第36条、同法第53条、警察法施行令第5条、警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例により県が設置、管理する施設である。</p> <p>交通機動隊及び証拠品センター（刑事部の所掌）は、警察法第36条、同法第47条により県に置かれる警察本部に、岩手県警察本部組織条例及び同規則により岩手県警察の内部組織として定めていることから県が設置、管理する施設である。</p> <p>以上のことから、各施設の適正な機能維持は、県が実施しなければならない。</p> <p>(3) 緊急に取り組む必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現警察署庁舎は、県内で最も建築年が古い警察署庁舎であり、現在必要とされる警察署の機能を十分に満たしていないことから、早急に建て替える必要がある。</li> <li>・ 現交通機動隊は、庁舎の老朽・狭隘、敷地狭隘のほか、北上川洪水想定浸水区域内であり、再三に渡る大雨冠水を受けて警察活動に支障を来していることから、治安維持拠点としての機能喪失を回避するため、早急に移転整備する必要がある。</li> <li>・ 各警察署の長期保管を必要とする証拠品を一括保管管理する専用施設の早期確保により、治安基盤の充実・強化を図る必要がある。</li> </ul>
--------	--

施 設 計 画 の 妥 当 性	(1) 規模の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎面積は、警察庁の警察署庁舎新築算定基準のほか、H29年以降に新築した警察署庁舎面積を参考に過大な面積とならないよう配慮しており、規模は妥当である。</li> <li>・ 敷地面積は、現在地及び隣接する町有地を取得しての現地建替であり、必要最小限となっている。</li> <li>・ 交通機動隊の訓練場（慣熟走行コース、トライアルコース）の整備に必要な面積確保のため、現在、警察署と同一敷地内に立地する老朽化が著しく、入居率が低調な宿舎を廃止し、先行解体する。</li> <li>・ 証拠品センターについて、岩手県の整備事例がないため、東北管内他県警での同種事例を参考とした。</li> </ul>
	(2) 代替手段との優位性（既存施設や類似施設、ソフト事業の活用等） <p>警察業務は、その特殊性から警察施設以外で実施することが困難であることから、活用できる他の既存施設や類似施設はないこと。</p> <p>特に留置施設及び取調室は、警察特有の施設であり他の代替施設はないこと。</p>
	(3) 建設予定地選定の妥当性 <p>ア 検討した候補地 紫波警察署現在地及び紫波消防署跡地（紫波町桜町字大坪 51 番 2 ほか）</p> <p>イ 選定理由 警察法施行令第 5 条第 2 項において、「警察署の位置は、管轄区域内の住民の利用に最も便利であるように、他の官公署との連絡、交通、通信その他事情を参酌して決定すること。」とされており、当該条件を満たす下記事項により選定したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紫波町の中心部に位置し、JR 駅、紫波町役場など官公署も近接していること。</li> <li>・ 洪水浸水、土砂災害の危険区域指定外であり、治安・防災拠点施設として被災のおそれがないこと。</li> <li>・ 災害時、主要道路へのアクセスが良好であり、管轄区域への早期臨場、警察活動が可能であること。</li> <li>・ 既存の県有地を活用するとともに、隣接する町有地を確保することで施設整備に必要な面積を確保できること。</li> </ul>
	(4) 利用者への配慮（ユニバーサルデザイン等） <p>利用者の利便性に配慮するため、次の事項を盛り込み、基本設計、実施設計の段階で具体的に計画していくこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設及び敷地内のバリアフリー化。</li> <li>・ 分かりやすい建物及び諸室の配置と案内サインなどの充実。</li> </ul>

環境保全と景観への配慮	<p>(1) 環境に対する影響及び保全対策</p> <p>ア 自然環境の状況や岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建設予定地の現況は、現在地及び旧紫波消防署跡地（町有地）である。</li> <li>岩手県自然環境保全指針では、Eランク（自然環境が強度に改変され、あるいはほとんど欠くことにより、概ね人為的環境となっている地域）である。</li> </ul> <p>イ 環境保全対策とそれに要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の高断熱化、冷暖房設備の負荷軽減及び消費電力の少ない設備機器の使用、自然エネルギーの活用などによりCO<sub>2</sub>の排出を抑制する。</li> <li>希少な動植物の生息が確認された場合は、必要に応じて生息環境を保全する取り組みを実施する。</li> </ul>		
	<p>(2) 景観に対する影響及び配慮</p> <p>ア 岩手県景観条例において、一般地域（市街地景観地区）とされている。</p> <p>イ 建設予定地は、県景観条例に係る「景観形成重点地域」に指定されていないが、シンプルなデザインとすることで周辺の街並みと調和を図り、地域に親しまれる施設とするよう計画している。</p>		
総合評価	<p>(1) 総合評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">対応方針案</td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事業実施</div> ・ 要検討 ・ その他  (        )        (        ) </td> </tr> </table> <p>○ 総合評価に係るコメント</p> <p>紫波警察署は、警察法その他関係法令により「紫波郡内における安全・安心」を確保するために設置しているものである。しかし、施設の老朽・狭隘化が著しいため警察署庁舎に備えるべき標準的な設備が整っておらず治安基盤としての機能維持が困難な状況にある。</p> <p>交通機動隊は、洪水浸水想定区域内に所在しているため治安基盤としての機能を喪失する危険性があることから、移転整備の必要に迫られており、「岩手県警察 警察署再編等長期計画」に基づき、一体整備に向けた取組を確実に推進することとしている。</p> <p>以上のことから、事業の効率性や施設計画の妥当性の観点及び環境や景観への影響の観点からも、支障となる要因は無いことから、事業実施が妥当であると判断した。</p>	対応方針案	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事業実施</div> ・ 要検討 ・ その他 (        )        (        )
	対応方針案	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事業実施</div> ・ 要検討 ・ その他 (        )        (        )	
<p>(2) 要検討、その他の場合対応案</p>			

※ 評価対象事業の位置図、計画平面図等を添付すること。

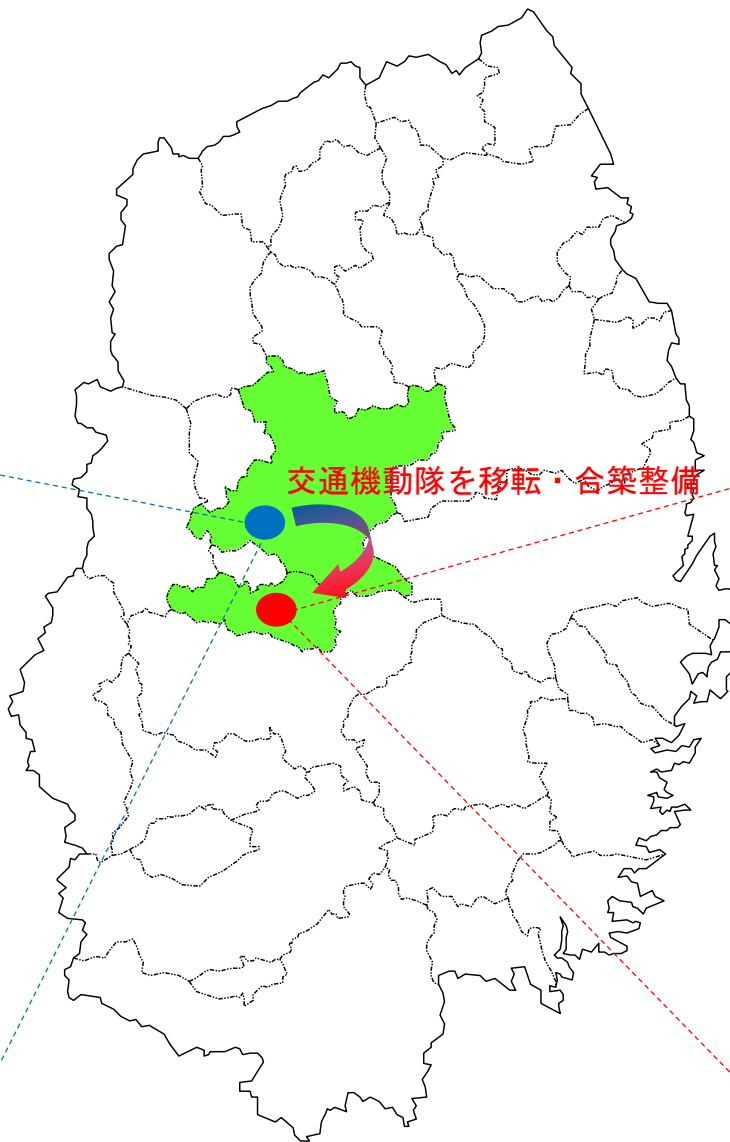
※ 本様式は、標準的な評価項目を示したものであり、事前評価を行う際には、施設の特性に応じて項目の追加や省略、修正するなど適切な評価項目を検討すること。



# 紫波警察署庁舎等整備事業

## 紫波警察署等庁舎位置図

施設名：交通機動隊本隊  
 所在地：盛岡市東仙北一丁目12番18号  
 敷地面積：1,884.85㎡  
 延床面積：庁舎 416.66㎡  
           車庫 72.00㎡  
           倉庫 16.15㎡

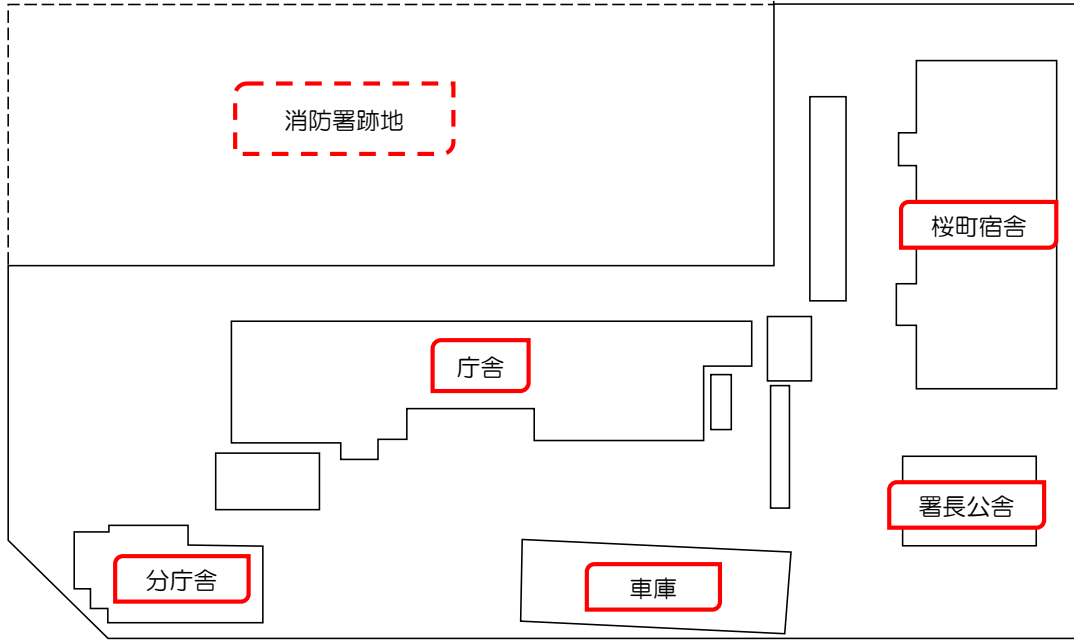


施設名：紫波警察署  
 所在地：紫波町桜町字大坪51番地2  
 敷地面積：5,728.94㎡(宿舍含む)  
 延床面積：庁舎 1,196.98㎡  
           車庫 182.00㎡  
           倉庫 23.18㎡  
 ※ 庁舎面積には分庁舎・ポンプ室を含む



# 紫波警察署庁舎等整備事業

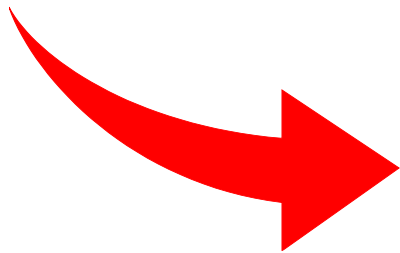
## 紫波警察署等庁舎配置図



### ○ 基本構想

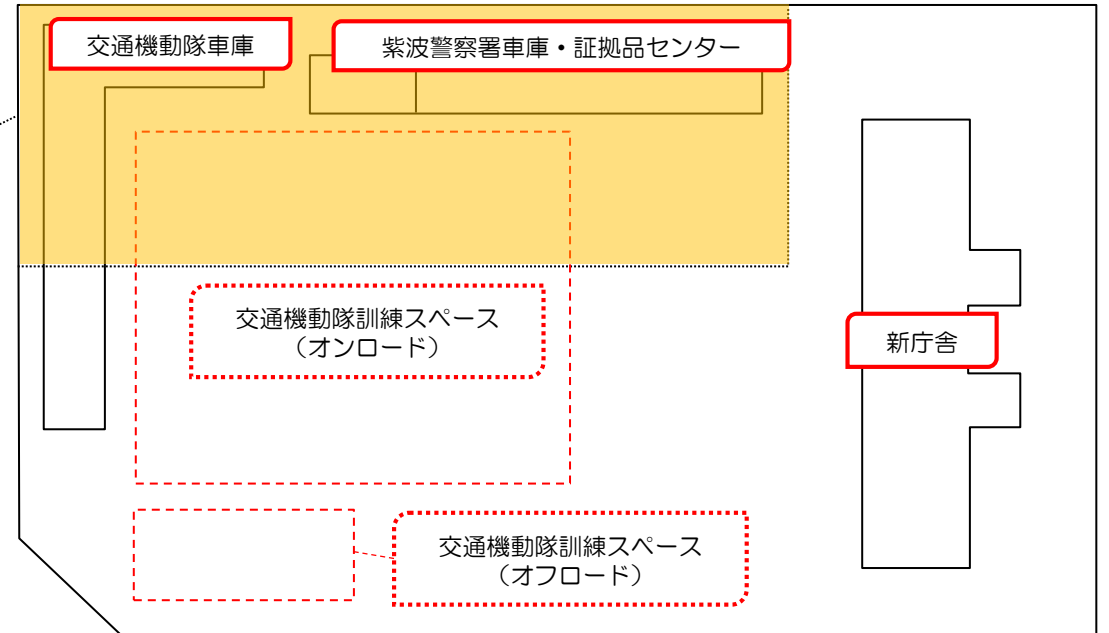
- ・ 現庁舎を使用しながらの現地建替
  - ・ 消防署跡地購入及び同一敷地内宿舍・公舎解体により建築面積を確保
  - ・ 交通機動隊本隊を合築整備(敷地内に訓練スペースを整備)
  - ・ 警察署車庫2階に証拠品センター(※)を整備
- ※ 証拠品センター  
刑事司法制度改正に伴う公訴時効撤廃等により長期保管を要する証拠品を保管管理するもの。

現在



新築後

消防署跡地購入





紫波警察署施設規模検討用 類似施設概要一覧

		紫波警察署	久慈警察署	釜石警察署	宮古警察署
建築年月日		—	R4.3.23	R1.7.9	H29.12.8
定員 R4.4.1現在	定員計	63人	66人	77人	95人
	うち内勤	47人	44人	50人	65人
車両台数		15台	13台	18台	19台
敷地面積		8,228.68㎡	11,818.46㎡	13,642.12㎡	12,843.24㎡
延床面積(全体)	併設施設含む	4,336.00㎡	4,337.84㎡	5,546.84㎡	4,269.85㎡
延床面積(合計)	警察署部分	3,307.59㎡	3,237.02㎡	3,940.86㎡	4,101.10㎡
庁舎棟	構造・階数	RC4	RC4	RC4	RC4
	延床面積	2,574.72㎡	2,522.73㎡	2,861.56㎡	3,036.14㎡
車庫棟	構造・階数	S2	S2	S2	S2
	延床面積	692.37㎡	673.79㎡	1,037.27㎡	1,018.96㎡
付属棟	ゴミ集積場	15.00㎡	15.00㎡	14.82㎡	15.00㎡
	来客自転車置場	19.50㎡	19.50㎡	21.21㎡	25.00㎡
	受水槽室	6.00㎡	6.00㎡	6.00㎡	6.00㎡
外構面積		6,006.11㎡	9,682.16㎡	10,959.83㎡	10,565.68㎡

併設施設	免許		県北免許C	沿岸免許C	
	交機隊	交機隊本隊		交機隊沿岸	
	高速隊		高速隊久慈	高速隊釜石	高速隊宮古
	その他	証拠品C			

事業費(予算ベース) (千円)	合計	2,930,547	3,499,163	3,950,077	4,036,652
	うち工事費	2,511,080	2,919,204	2,999,042	3,625,711

交通機動隊訓練コース比較検討

	面積(慣熟走行コース)	定員	一人当たり面積
交通機動隊(本隊)	2,000㎡	15人	133㎡/人
交通機動隊(沿岸分駐隊)	874㎡	6人	146㎡/人

# 紫波警察署庁舎等整備事業

（所在市町村：紫波町）

- ▶ 1. 事業概要
- ▶ 2. 事業の必要性
- ▶ 3. 施設計画の妥当性
- ▶ 4. 環境保全と景観への配慮
- ▶ 5. 総合評価



# 1. 事業概要

## (1) 事業の目的

老朽・狭隘化が著しい紫波警察署と交通機動隊本隊の2庁舎及び証拠品センター（新設）を効率性、経済性の観点から一体整備し、施設の機能向上及び防災拠点としての機能維持による治安基盤の強化により、事故や犯罪が少ない安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。

## (2) 事業の目標

施設の供用開始目標年次（紫波警察署） R9年

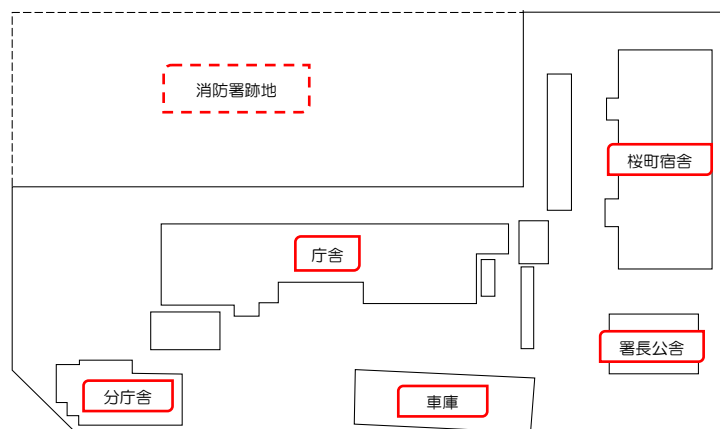
施設の供用開始目標年次（証拠品センター） R9年

施設の供用開始目標年次（交通機動隊） R10年

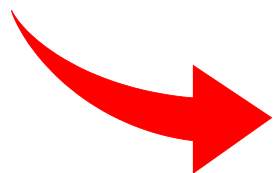
# 1. 事業概要

## 紫波警察署庁舎等整備事業

紫波警察署等庁舎配置図



現在

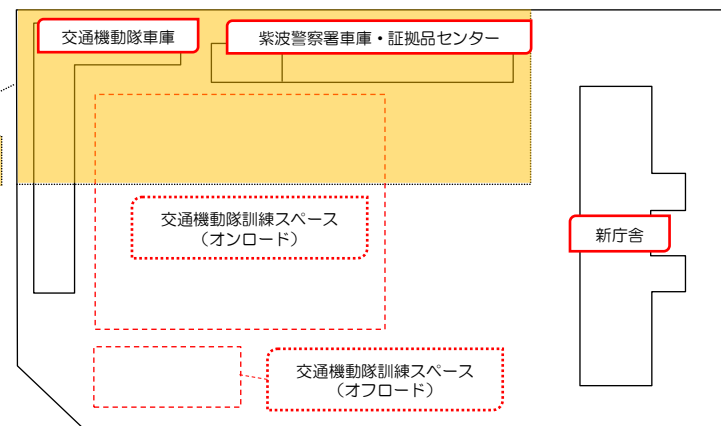


新築後

### ○ 基本構想

- 現庁舎を使用しながらの現地建替
  - 消防署跡地購入及び同一敷地内宿舎・公舎解体により建築面積を確保
  - 交通機動隊本隊を合築整備(敷地内に訓練スペースを整備)
  - 警察署車庫2階に証拠品センター(※)を整備
- ※ 証拠品センター  
刑事司法制度改正に伴う公訴時効撤廃等により長期保管を要する証拠品を保管管理するもの。

消防署跡地購入



# 1. 事業概要

## (3) これまでの経緯

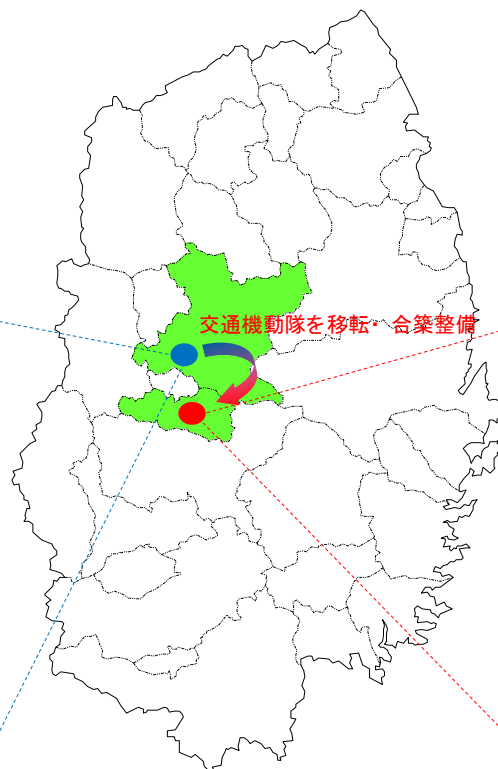
- S47年 3月 交通機動隊本隊・直轄隊庁舎を建設
- S49年 3月 紫波警察署庁舎を建設
- H27年12月 岩手県警察 警察署再編等長期計画において以下を決定
  - 紫波警察署庁舎の建て替え
  - 交通機動隊本隊・直轄隊庁舎の移転・併設
  - 証拠品センターの併設
- R3年 3月 紫波警察署等庁舎整備事業基本構想を策定
- R3年11月 PPP/PFI手法導入評価会議において、従来手法による実施検討が  
適当と決定

# 1. 事業概要

## 紫波警察署庁舎等整備事業

### 紫波警察署等庁舎位置図

施設名：交通機動隊本隊  
 所在地：盛岡市東仙北一丁目12番18号  
 敷地面積：1,884.85㎡  
 延床面積：庁舎 416.66㎡  
           車庫 72.00㎡  
           倉庫 16.15㎡



施設名：紫波警察署  
 所在地：紫波町桜町字大坪51番地2  
 敷地面積：5,728.94㎡(宿舍含む)  
 延床面積：庁舎 1,196.98㎡  
           車庫 182.00㎡  
           倉庫 23.18㎡  
 ※ 庁舎面積には分庁舎・ポンプ室を含む



# 1. 事業概要

## (4) 事業の内容

- 事業主体  
岩手県
- 建設予定地…紫波町桜町字大坪51番2ほか
  - ・紫波町の現在地及び宿舍用地（県有地）  
※同一敷地内の宿舍を解体撤去
  - ・隣接する町有地（旧紫波消防署跡地）
- 敷地面積  
約8,230㎡
- 施設規模（想定 = 基本設計前）



区 分	構造	階数	延床面積	備 考
庁舎棟	鉄筋コンクリート造	4階	3,074㎡	警察署、交機隊
車庫棟（警察署）	鉄骨造	2階	854㎡	車庫、倉庫、証拠品センター
車庫棟（交機隊）	鉄骨造	1階	367㎡	車庫、機材庫
付属棟	—	—	41㎡	ゴミ置場、駐輪場、受水槽室
合 計			4,336㎡	
交機隊訓練コース	外構	—	2,250㎡	

# 1. 事業概要

## (5) 事業のスケジュール

- 計画期間：R5年度 ～ R12年度
- スケジュール ※基本構想段階であり、変更があり得る。
  - ・ R5～R6年度 基本設計・実施設計
  - ・ R6年度 用地購入
  - ・ R7年度 宿舍解体
  - ・ R7～R9年度 建築工事（第1期）、警察署運用開始
  - ・ R9年度 既存施設解体（警察署）
  - ・ R10年度 建築工事（第2期）、交機隊運用開始
  - ・ R11年度 既存施設解体（交機隊）
  - ・ R12年度 用地測量等（交機隊跡地）



# 1. 事業概要

## (6) 整備事業費

総事業費は、29億3,100万円で内訳は下表のとおりである。

(単位：百万円)

総事業費	用地購入費	建築工事費	解体工事費	設計費	その他
2,931	95	2,279	232	167	158

### 【コスト縮減への取り組み】

- 警察署、交通機動隊及び証拠品センターの各庁舎を同一敷地内に集約し、一体的に整備することにより建設費用及び維持管理費用を抑制する。
- 警察署等現在地（県有地）を活用し、総事業費を抑制する。
- 現交通機動隊（県有地）の敷地売却による収入財源を見込む。
- 耐久性に優れた材料を躯体・内外装・設備材料等に採用するとともに、躯体寿命に比べて耐用年数の短い設備機器類は、日常の維持管理や将来の更新が容易に行える計画とし、施設の総合的な長寿命化を図ることによりライフサイクルコストを抑制する。

## 2. 事業の必要性

### (1) 県計画との関連

いわて県民計画の政策項目№28

**「事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます」**



本項目を支える**治安基盤の強化**を図る。



#### 【主な取組内容】

- 地域の実態に即した体制の見直し
- **治安維持拠点である警察施設の整備**
- 警察装備等の整備
- 交番相談員の配置による交番機能の強化
- 事件事故、災害等発生現場における早期情報収集機能の充実 など

本事業も老朽・狭隘化した施設を**機能向上させて建て替える**ことで治安基盤の強化を図る。

## 2. 事業の必要性

### (2) 課題や県民ニーズとの関連

紫波警察署庁舎は、S49年に建築され築48年が経過している。



老朽・狭隘化が著しく、今後、治安基盤としての機能維持が困難である。



現在必要とされる警察署の機能を満たした庁舎を整備する必要がある。

警察署庁舎  
正面



警察署庁舎  
1階窓口



警察署庁舎  
1階事務室内



## 2. 事業の必要性

### (2) 課題や県民ニーズとの関連

交通機動隊本隊庁舎は、S47年に建築され築50年が経過している。



老朽・狭隘化が著しいほか、敷地狭隘のため訓練スペースが不足。



再三に渡り大雨による水害に見舞われ災害警備出動に支障を来すなどしている。  
早期に移転整備が必要。

交通機動隊  
庁舎正面



交通機動隊  
事務室



交通機動隊  
敷地内パース



## 2. 事業の必要性

### (2) 課題や県民ニーズとの関連



交通機動隊  
敷地内浸水  
状況  
H25年 8月



交通機動隊  
敷地内浸水  
状況  
H25年 8月



交通機動隊  
庁舎 1階  
浸水状況  
H25年 8月

## 2. 事業の必要性

### (2) 課題や県民ニーズとの関連

証拠品センター（新設）は、人を死亡させた罪の公訴時効の撤廃及び延伸に伴い、長期に渡る証拠品の保管が必要となる。



各警察署での保管に量的な限界が生じること



各警察署の長期保管を要する証拠品を一括して保管管理する専用施設



## 2. 事業の必要性

### (3) 県が実施する必要性

警察署、交通機動隊及び証拠品センター（刑事部の所掌）は、警察法ほか関係法令に基づいて県が設置、管理する施設である。



各施設の適正な機能維持は、県が実施しなければならない。

## 2. 事業の必要性

### (4) 緊急に取り組む必要性

- ・ 現警察署庁舎は、県内で最も建築年が古い庁舎であり、現在必要とされる警察署の機能を十分に満たしていない。

**早急な建替の必要有り**

- ・ 現交通機動隊は、庁舎の老朽・狭隘、敷地狭隘のほか、北上川洪水想定浸水区域内であり、再三に渡る大雨冠水を受けて警察活動に支障を来している。

**治安維持拠点としての機能喪失回避、早急な移転整備の必要有り**

- ・ 各警察署の長期保管を必要とする証拠品を一括保管管理する専用施設の早期確保。

**治安基盤の充実・強化を図る必要有り**



## 3. 施設計画の妥当性

### (1) 規模の妥当性

庁舎面積は、次の項目を考慮して**過大とならないよう**配意

- 警察庁の警察署庁舎新築算定基準
- H29年以降に新築した警察署庁舎面積を参考
- 現在地及び隣接する町有地を取得しての現地建替
  - 必要最小限の敷地面積
- 交通機動隊の訓練場（慣熟走行コース、トライアルコース）の整備に必要な面積確保
  - 警察署と同一敷地内に立地する老朽化が著しく、入居率低調な宿舍を廃止、先行解体
- 証拠品センターについて、岩手県の整備事例がないため、東北管内他県警での同種事例を参考

## 3. 施設計画の妥当性

### 【類似施設との比較】

		紫波警察署	久慈警察署	釜石警察署	宮古警察署
建築年月日		－	R4.3.23	R1.7.9	H29.12.8
定員	定員計	63人	66人	77人	95人
R4.4.1現在	うち内勤	47人	44人	50人	65人
車両台数		15台	13台	18台	19台
敷地面積		8,228.68㎡	11,818.46㎡	13,642.12㎡	12,843.24㎡
延床面積(全体)	併設施設含む	4,336.00㎡	4,337.84㎡	5,546.84㎡	4,269.85㎡
延床面積(合計)	警察署部分	3,307.59㎡	3,237.02㎡	3,940.86㎡	4,101.10㎡
庁舎棟	構造・階数	RC4	RC4	RC4	RC4
	延床面積	2,574.72㎡	2,522.73㎡	2,861.56㎡	3,036.14㎡
車庫棟	構造・階数	S2	S2	S2	S2
	延床面積	692.37㎡	673.79㎡	1,037.27㎡	1,018.96㎡
付属棟	ゴミ集積場	15.00㎡	15.00㎡	14.82㎡	15.00㎡
	来客自転車置場	19.50㎡	19.50㎡	21.21㎡	25.00㎡
	受水槽室	6.00㎡	6.00㎡	6.00㎡	6.00㎡
外構面積		6,006.11㎡	9,682.16㎡	10,959.83㎡	10,565.68㎡
併設施設	免許		県北免許C	沿岸免許C	
	交機隊	交機隊本隊		交機隊沿岸	
	高速隊		高速隊久慈	高速隊釜石	高速隊宮古
	その他	証拠品C			
事業費(予算ベース)	合計	2,930,547	3,499,163	3,950,077	4,036,652
(千円)	うち工事費	2,511,080	2,919,204	2,999,042	3,625,711
交通機動隊訓練コース比較検討					
		面積(慣熟走行コース)	定員	一人当たり面積	
交通機動隊(本隊)		2,000㎡	15人	133㎡/人	
交通機動隊(沿岸分駐隊)		874㎡	6人	146㎡/人	

## 3. 施設計画の妥当性

### (2) 建設予定地選定の妥当性

警察署の位置について、警察法施行令において「警察署の位置は、**管轄区域内の住民の利用に最も便利**であるように、他の官公署との連絡、交通、通信その他事情を参酌して決定すること。」とされている。

#### ➤ 検討した候補地

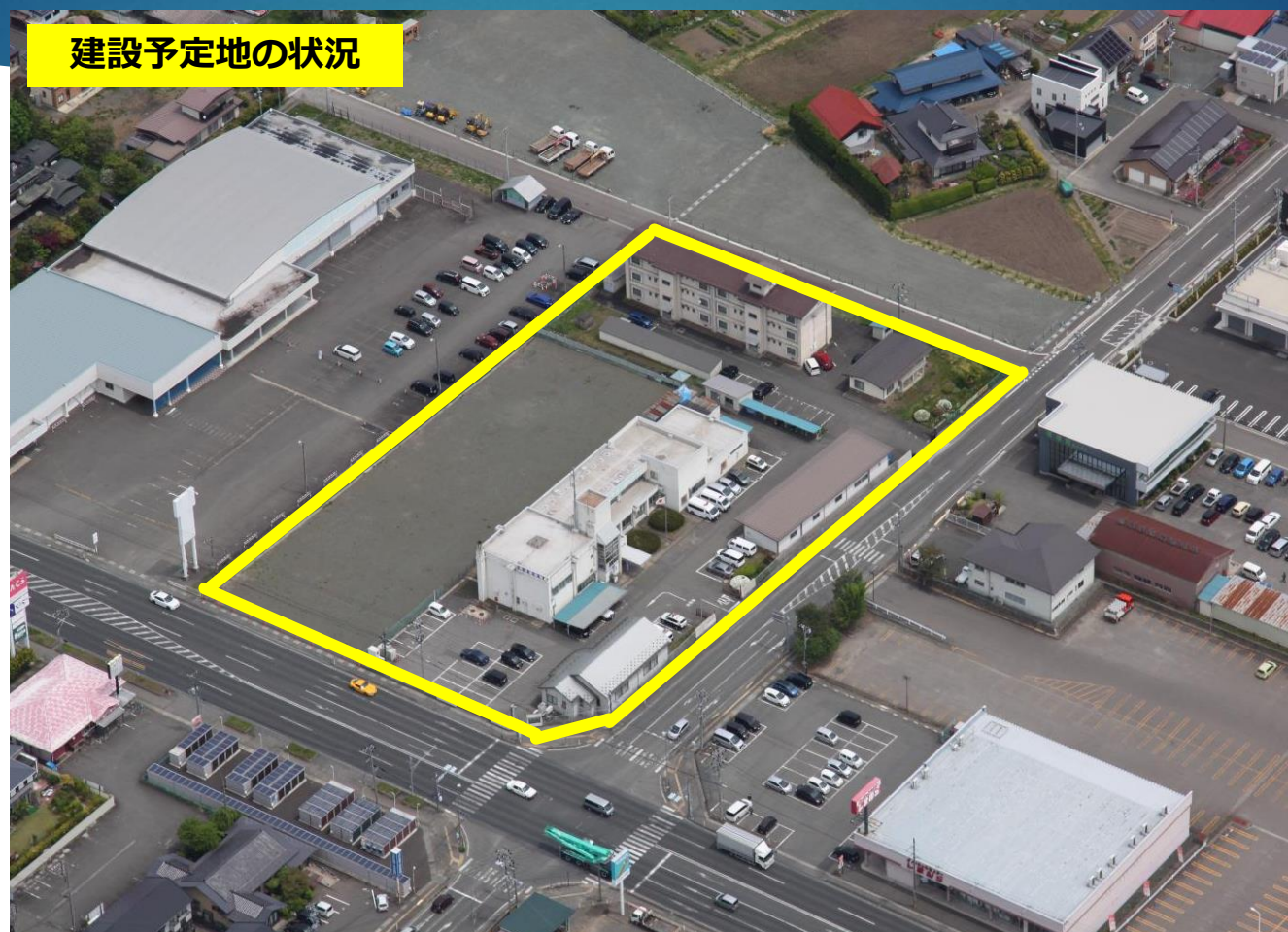
紫波警察署現在地及び紫波消防署跡地  
(紫波町桜町字大坪51番2ほか)

#### ➤ 選定理由

警察法施行令の条件を満たす下記事項により選定

交通アクセス	官公署との距離	災害危険区域指定	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫波町の中心部に位置</li> <li>・JR駅が近接</li> <li>・主要道路への良好なアクセス (災害時のアクセスも良好)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫波町役場など他の官公署が近接</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水浸水区域外</li> <li>・土砂災害危険区域外</li> <li>・治安・防災拠点施設として被災のおそれがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の県有地を活用</li> <li>・隣接する町有地を確保 (有効活用できる整形地)</li> <li>・施設整備に必要な面積確保</li> </ul>

### 3. 施設計画の妥当性



## 4. 環境保全と景観への配慮

### (1) 環境に対する影響及び保全対策

建設予定地

- 現況は、現在地及び旧紫波消防署跡地（町有地）である。
- 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分は、**Eランク**である。

保全区分	内容	保全目標	保全方向
E	自然環境が強度に改変され、あるいはほとんど欠くことにより、概ね人為的環境となっている地域	残された自然の保全を図るとともに、自然環境と調和した生活空間の創出を図る。	自然環境に留意しながら適正な利用に努めるとともに、緑地などの自然環境の修復、育成に努める。

- ✓ 施設の高断熱化、冷暖房設備の負荷軽減及び消費電力の少ない設備機器の使用、自然エネルギーの活用などにより**CO2の排出を抑制**
- ✓ 希少な動植物の生息が確認された場合は、必要に応じて**生息環境を保全する取組を実施**

### (2) 景観に対する影響及び配慮

建設予定地は、岩手県景観条例において、**一般地域（市街地景観地区）**とされている。

➡ シンプルなデザインで**周辺の街並みと調和**を図り、**地域に親しまれる施設**とする計画。

## 5. 総合評価

- 紫波警察署は、警察法その他関係法令により「**紫波郡内における安全・安心**」を確保するために設置しているものである。
- しかし、**施設の老朽・狭隘化が著しい**ため警察署庁舎に備えるべき標準的な設備が整っておらず**治安基盤としての機能維持が困難**な状況にある。
- 交通機動隊は、**洪水浸水想定区域内に所在**しているため治安基盤としての**機能を喪失する危険性**があることから、**移転整備の必要**に迫られており、「岩手県警察 警察署再編等長期計画」に基づき、一体整備に向けた取組を確実に推進することとしている。
- 以上のことから、事業の効率性や施設計画の妥当性の観点及び環境や景観への影響の観点からも、支障となる要因は無いものである。

【対応方針案】 **事業実施**



# 大規模公共事業再評価調書の概要

## いわさきがわ (岩崎川広域河川改修事業)

担当部課：県土整備部河川課

- 1 **事業概要** (河川名：一級河川北上川水系岩崎川、所在市町村：矢巾町、紫波町)
  - 事業目的： 岩崎川は流下能力が不足していることから、大雨の都度氾濫を繰り返しており、近年においては、平成 14 年、平成 19 年の浸水被害をはじめ、平成 25 年 8 月 9 日の大雨・洪水では床上浸水 97 戸を含む浸水戸数 404 戸（平成 25 年 9 月 9 日時点）もの被害が発生している。  
一方、沿川では近年大規模な宅地開発などにより市街化が著しく進んでおり、また、岩手医科大学の移転、東北自動車道矢巾スマートインターチェンジの開通などにより、今後も資産の集積が想定されることから、河積の拡大を図り、沿川の洪水被害を軽減し、安全で安心できる地域づくりに寄与するものである。
  - 事業内容： 延長 L=11,940m（岩崎川 L=7,940m、芋沢川 L=2,400m、太田川 L=1,600m）  
築堤 L=23,880m、掘削 V=268,490m<sup>3</sup>、護岸 A=176,210m<sup>2</sup>
  - 事業期間： 平成 4 年度～令和 19 年度（前回再評価時：令和 8 年度）
  - 総事業費： 20,414.0 百万円（前回再評価時：20,414.0 百万円）  
（令和 4 年度までの投資額 15,789.1 百万円、進捗率 77%）
- 2 **事業の進捗状況等**
  - 現況流下能力が低く、沿川の資産の集積が最も高い岩崎川の改修を優先して進め、これまで、沿川のほ場整備事業、区画整理事業と調整を図りながら整備を進め、北上川合流部から JR 東北本線までの約 6.61 km 区間について流下能力を確保した。
  - 今後は、岩崎川に接続する太田川、芋沢川の整備を進めていく。矢巾町、紫波町からは早期整備要望が出されている等、地元との協力体制が構築されており、今後も確実な事業進捗が見込まれる。
- 3 **社会経済情勢等の変化**
  - 本県では、令和元年 10 月の小屋畑川・沢川（久慈市）の洪水や平成 28 年 8 月の台風 10 号の小本川（岩泉町）などの洪水、平成 25 年 7 月の砂鉄川（一関市）、8 月の岩崎川（矢巾町）及び雫石川（雫石町）の洪水など、近年大規模な浸水被害が各地で発生しており、県民の河川・海岸など防災事業に対する関心は依然として高く、効果的な事業の進捗に努める必要がある。
  - 事業地域では、平成 14 年、平成 19 年の浸水被害をはじめ、平成 25 年 8 月 9 日の大雨・洪水では床上浸水 97 戸を含む浸水戸数 404 戸もの甚大な被害が発生していること、沿川では大規模な区画整理事業、ほ場整備事業及び岩手医科大学や岩手医科大学付属病院の移転が進められる等、資産の集積が著しいこと等から、地元から事業促進について強い要望がある。
  - 事業実施にあたっては、現地での環境調査結果に基づき、振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会の意見を聴きながら、事業実施による周辺環境への影響を可能な限り低減させることとしている。
  - ソフト施策として、県では洪水浸水想定区域を公表しているほか、水位計や河川監視カメラを設置しインターネットで公開するなど防災情報の提供に努めている。
- 4 **コスト縮減対策及び代替案**
  - コスト縮減対策は、河道掘削で発生した土砂を他事業等に流用することによる残土処理費の低減等によりコストの低減を図っている。
  - 治水代替案としては、遊水地やダム建設との組合せによる手法が考えられるが、平成 18 年度の事業評価（再評価）において、コスト等を比較した結果、河川改修による治水計画が妥当と判断されている。
- 5 **総合評価**
  - 「事業の進捗状況等」については、河川改修計画に変更が生じていないものの、事業期間を延伸することから、大項目評価を【BB】としている。
  - 「社会経済情勢等」の変化については、前回評価時から大きな変化はないことから【AA】としている。
  - 以上のことから総合評価は「事業継続」と評価したものである。

大規模公共事業 再評価調査

令和 4 年 5 月 25 日 作成

事業名	広域河川改修事業		(補助) 単独	担当部課名	県土整備部河川課				
路線名等	一級河川北上川水系 <small>いわさきがわ</small> 岩崎川	地区名	-		市町村	紫波町、矢巾町			
事業概要	〔事業根拠法令等：河川法第 9 条〕								
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>・岩崎川は、元々農業用水路であったことから、河床が高く、断面が狭小で流下能力が不足しており、大雨の際には大規模な浸水被害が発生している。また、芋沢川、太田川においても流下能力が不足しており、浸水被害が発生している。近年においては、平成14年、平成19年の浸水被害をはじめ、平成25年8月9日の大雨・洪水では床上浸水97戸を含む浸水戸数404戸もの甚大な被害が発生している。</p> <p>・以上のことから、本事業により河積の拡大を図り、沿川の洪水被害を軽減し、安全で安心できる地域づくりに寄与するものである。</p> <p>○整備により得られる効果</p> <p>・本事業により、30年に1度の確率による降雨で発生すると考えられる洪水被害からの解消が図られる。</p>								
	<p>(2) 事業内容</p> <p>事業延長 L=11,940m (岩崎川L=7,940m、芋沢川L=2,400m、太田川L=1,600m)</p> <p>事業内容 築堤 L=23,880m、掘削 V=268,490m<sup>3</sup>、護岸 A=176,210m<sup>2</sup></p>								
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>治水安全度：1/30〔治水基準点：北上川合流点〕</p>								
事業着手	H4年度	事業計画期	H4	～	R19 今回評価時全体計画期間 R8 前回評価時全体計画期間 R5 当初全体計画期間	用地着手	H5年度	工事着手	H6年度
事業費	当初計画総事業費 (H4)	前回評価時総事業費 (H29)	今回評価時総事業費 (R4) A	事業費の状況 [百万円]				進捗率 F=E/A	
	(うち用地費)	(うち用地費)	(うち用地費)	H4年～R2年 B	R3年 C	R4年 D	投資事業費 E=B+C+D		
	13,300.0	20,414.0	20,414.0	15,757.1	22.0	10.0	15,789.1		
(3,542.0)	(4,820.0)	(4,820.0)	(3,087.0)	(R2補正) (0.0)	(R3補正) (0.0)	(3,087.0)	財源 国庫 7,894.6 県 7,894.6 他	77%	
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況								
	<p>ア 整備効果の発現状況</p> <p>・沿川の資産が最も集中している岩崎川においては平成25年の洪水により甚大な被害が発生したことから、重点的に河川改修を進めた結果、令和2年度に完成し、平成25年の洪水と同規模の洪水を流下できる整備効果が発現している状況。</p> <p>・今後、太田川や芋沢川についても順次整備を行い、治水安全度の向上を図ることとしている。</p>								
	<p>イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <p>①理由：事業期間の延伸は、県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算を重点的に配分する必要があることによるものである。</p> <p>②解決の見通し（難易度）：今後も予算確保に努めるとともに、工事実施に当たってはコスト削減などに取り組んでいく。</p> <p>③解決までの対応及び期間：芋沢川、太田川の事業進捗が図られるまでの洪水に対し、住民の避難行動を促すため、想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を令和4年3月22日に公表したところ。</p>								
	<p>○中項目評価は、県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算の重点的な配分など、本事業の進捗を阻害する要因はあるものの、一定の期間等を要することにより解決できる見込みであり、竣工の見通しがあることから「b」とした。</p> <p style="text-align: right;">中項目評価 a . (b) . c</p>								
(2) 事業計画の変更の有無及び内容									
<p>・事業期間の延伸 (H4～R8 → H4～R19)</p> <p>○中項目評価は、変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、事業期間に関する変更であり、大幅な変更ではないため「b」とした。</p> <p style="text-align: right;">中項目評価 a . (b) . c</p>									
<p>○中項目評価が「b」、「b」であることから、大項目評価を「BB」とした。</p> <p style="text-align: right;">評 価 AA・A・(BB)・B・C</p>									



(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

・平成23年3月11日の東日本大震災による津波や、平成30年6、7月に西日本を中心に発生した集中豪雨及び令和元年10月の台風第19号などに見られるように、自然災害により尊い人命や家屋等の財産が甚大な被害を受けていることから、今後も着実にハード整備を進めるとともに、安全な避難等のための洪水情報等の提供の充実などソフト施策の充実を図り、災害時に避難が行われるよう住民の意識啓発に努めていく必要がある。

イ 本県内の状況

・平成23年3月11日の東日本大震災による津波により、沿岸域で6千名弱の死者・行方不明者など甚大な被害を被っている。また近年では、令和元年10月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成28年8月の閉伊川（宮古市）、小本川（岩泉町）の洪水など各河川で大規模な浸水被害が発生していることから、河川・海岸など防災事業に対する関心度は依然として高まっており、効果的な事業の進捗に努める必要がある。

・県では、近年洪水被害が発生した河川や背後地に資産の集中している河川について重点的に整備を進めることとしており、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることを当面の目標として、段階的な整備により治水安全度の向上を図ることとしている。

・河川改修などのハード整備を進めているとともに、住民の迅速かつ円滑な避難を促すため、ソフト施策として水位計や河川監視カメラを設置のうえ、ホームページやメール等により洪水情報を提供しているほか、洪水浸水想定区域図の作成、市町村への洪水ハザードマップの作成支援を行っている。

ウ 施工地域における状況

・当事業区間は、近年では平成19年、25年に洪水被害を受けているほか、沿川では大規模な区画整理事業等により資産の集中が著しいことから、地域住民の治水事業に対する関心も高く、紫波町、矢巾町は県に対し、当該河川の早期改修要望を行っている。ソフト施策として危機管理型水位計（太田川、芋沢川：R1）や、簡易型河川監視カメラ（岩崎川：R2）を設置し、ホームページで公開しているほか、岩崎川を水位周知河川に指定し（R3）、一定の水位を超えた際には水防管理者等に河川水位を通知し、必要に応じて報道機関の協力を求めて一般に周知するなどの対策を講じている。また、岩崎川、太田川、芋沢川の想定最大規模の浸水想定区域図を令和3年度に公表している。

○中項目評価は、全国及び本県において、河川事業のあり方に係る議論や見直しの検討はないことから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 評点 (H4年度)	前回評価時 評点(A) (H29年度)	今回評価時 評点(B) (R4年度)	増減 (B)-(A)	備考
必要性	想定氾濫被害額	15	15 (230億円)	15 (686億円)	15 (656億円)	0	※1
	防護人口	5	5 (5.0千人)	5 (10.7千人)	5 (11.1千人)	0	
	公共施設・弱者施設	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	岩手医科大学 高校、小学校
	輸送施設	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	鉄道、国道 県道、町道
重要性	総合計画上の位置付け	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
緊急性	過去10年間の水害被害実績	5	3 (207百万円)	3 (230百万円)	5 (1,450百万円)	2	H25 ※2
	過去10年間の被災回数	3	3 (3回)	2 (2回)	1 (1回)	-1	H25 ※3
	他事業関連の有無	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	ほ場整備事業 区画整理事業 岩手医科大学 総合移転整備事業
	流下能力比	2	2 (50%未満)	2 (50%未満)	2 (50%未満)	0	
効率性	費用便益費(B/C)	40	40 (9.2)	40 (21.4)	40 (20.6)	0	※4
熟度	地元の要望	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
	地元の協力	5	0 (無)	5 (有)	5 (有)	0	
計		100	93	97	98	1	(今回/前回) 101%

※1 想定氾濫被害額が減少した理由：  
公共土木施設の評価額算定方法の変更による（治水経済調査マニュアル（案）（R2.4））

※2 水害統計（H28）より（前回評価時は速報値となっていたことによるもの）

※3 H19年度の被災が対象から外れたことによるもの

※4 B/Cが減少した理由：想定被害被害額の減少による

○ 費用便益分析

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル(案) 令和2年4月 国土交通省 (単位:百万円)

区 分		事業着手時 (基準年: H4年度)	前回評価時 (基準年: H29年度)	今回評価時 (基準年: R4年度)	備考
費用項目	建設費	8,643	28,949	37,116	※1
	維持管理費	989	3,385	3,734	※2
	総費用(C)	9,632	32,334	40,850	
便益項目	被害額の便益	88,355	691,366	840,817	※3
	残存価値	147	119	75	※4
	総便益(B)	88,502	691,485	840,892	
費用便益比(B/C)		9.2	21.4	20.6	

※1「建設費」の増は、現在価値化による。(事業費の増減は無し)

※2「維持管理費」の増は、前回評価以降の整備促進及び現在価値化による。

※3「被害額の便益」の増は、治水経済調査マニュアル改訂に伴い公共土木施設の評価額算定方法が変更となり公共土木施設等被害額は減少しているものの、岩手医大等の一般資産の集積が著しいことによる。

※4「残存価値」の減は、整備期間の延長及び現在価値化による。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・徳田第一地区圃場整備事業(平成4年度～平成13年度 A=201ha)
- ・矢幅駅東地区土地区画整理事業(平成4年度～平成18年度 A=38ha)
- ・矢幅駅西地区土地区画整理事業(平成15年度～平成26年度 A=22.6ha)
- ・岩手医科大学総合移転整備事業(平成17年度～平成31年度 A=36.6ha)
- ・下矢次地区経営体育成基盤整備事業(平成22年度～平成24年度 A=34.8ha)
- ・矢幅駅前地区土地区画整理事業(平成23年度～平成27年度 A=11.6ha)
- ・岩手県立療育センター整備事業(平成27年度～平成29年度)
- ・岩手県立盛岡となん支援学校(仮称)整備事業(平成27年度～平成29年度)

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が、前回再評価時の90%以上であることから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 E
- ・希少野生動植物生息の有無 あり
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 あり

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 付議している

① 主な助言内容

- ・岩崎川において、鳥類の古巣が確認されることから、支障木の伐採は繁殖期(4～7月)を避けること。

② 対応状況

- ・支障木の伐採は繁殖期を避けて施工を行う。
- ・事業実施にあたっては、環境調査を行うとともに、環境への影響が極力少なくなるよう、その都度配慮しながら事業を進めている。

《その他の環境配慮に要する事業費等》

- ・魚巣ブロック等 : C=約40百万円
- ・環境調査費 : C=約34百万円

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応していることから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

○中項目評価が、「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価は「AA」とした。

評 価 AA . A . B . C

コスト削減対策及び代替案立案の可能性	<p>(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣他事業へ残土流用したことによる削減額 約30百万円（残土運搬距離を短縮した）</li> </ul> <p>(2) 代替案立案の可能性</p> <p>①代替案として考えられる他の事業手法・工法の比較検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替案として考えられる遊水地やダムによる治水手法は、経済比較等を行い、河川改修による治水対策が妥当と判断している。</li> </ul> <p>②今後における代替案立案の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点において、代替案立案の可能性はない。</li> </ul>																																										
	<p>(1) 総合評価</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;">総合評価 (対応方針案)</td> <td> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事業継続</div> </td> <td>要検討</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="font-size: small;">(事業継続、見直し継続、休止、中止)</td> </tr> </table> <p>(事業名) 岩崎川広域河川改修事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">着手年度</th> <th rowspan="2">完了予定年度</th> <th rowspan="2">事業費 (百万円)</th> <th rowspan="2">投資事業費 (百万円)</th> <th rowspan="2">進捗率 (%)</th> <th colspan="3">(1)事業進捗状況</th> <th colspan="3">(2)社会経済情勢</th> <th colspan="2">参考</th> </tr> <tr> <th>進捗状況</th> <th>計画変更</th> <th></th> <th>社会経済</th> <th>評価指標</th> <th>自然環境</th> <th>評点</th> <th>B/C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H4</td> <td>R19</td> <td>20,414.0</td> <td>15,789.1</td> <td>77%</td> <td>BB</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>AA</td> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> <td>98</td> <td>20.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○総合評価に係るコメント</p> <p>①再評価の総括</p> <p>「事業の進捗状況等」については、事業期間を延伸するものの、事業計画に大幅な変更は無く、確実な竣工が見込まれることから、今後も事業を推進し、治水安全度の向上を図っていく。</p> <p>「社会情勢等の変化」については「事業に関する社会経済情勢」及び「自然環境との状況」に関して大きな変化はないところ。また、「事業に関する評価指標の推移」において、緊急性の指標が減少しているが、過去に大規模な洪水被害を受けており、沿川住民の生命及び財産を守るため、引き続き整備を進めていく必要がある。</p> <p>以上のことから「事業継続」と評価したものである。</p>	総合評価 (対応方針案)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事業継続</div>	要検討	中止	(事業継続、見直し継続、休止、中止)				着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考		進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	H4	R19	20,414.0	15,789.1	77%	BB	b	b	AA	a	a	a	98
総合評価 (対応方針案)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事業継続</div>	要検討	中止																																								
(事業継続、見直し継続、休止、中止)																																											
着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考																																
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C																															
H4	R19	20,414.0	15,789.1	77%	BB	b	b	AA	a	a	a	98	20.6																														
総合評価																																											

大規模公共事業 再評価調書 (付表)

事業名	広域河川改修事業	(補助) 単独	担当部課名	県土整備部河川課
路線名等	一級河川北上川水系 <sup>いわさきがわ</sup> 岩崎川	地区名	-	市町村 紫波町、矢巾町
<p><b>1 現在までの事業の経緯等</b></p> <p>平成4年度 国庫補助による事業採択          平成9年度 事業全体計画の認可          平成17年度 盛岡東圏域河川整備計画公聴会          平成19年度 盛岡東圏域河川整備計画の認可          平成25年度 盛岡東圏域河川整備計画(変更)の認可          平成28年度 盛岡東圏域河川整備計画(変更)の認可</p> <p><b>2 事業を取り巻く社会経済情勢等の変化の具体的説明</b></p> <p>岩崎川沿川では宅地開発や岩手医科大学の移転などにより市街化が進んでいるため、資産が増加しており、地元から治水事業に対する強い促進要望が出されている。</p> <p>(近年の浸水被害)          平成19年9月19日 床下浸水 9戸、浸水面積1.2ha          平成25年8月9日 床下浸水 307戸、床上浸水97戸、浸水面積179ha</p> <p>(要望の状況) ※期日は近年のものを記載している。</p> <p>1. 市町村要望          (1) 矢巾町 令和3年度迄、毎年継続して行われている。(最新は令和3年7月29日)          (2) 紫波町 令和3年度迄、毎年継続して行われている。(最新は令和3年7月16日)</p> <p>2. 一級河川岩崎川等改修促進協議会          令和元年度迄、毎年継続して行われてきた。(最新は令和元年5月23日)</p> <p>3. 議員要望等          ・いわて県民クラブ(平成25年10月11日)          ・岩手県議会希望・みらいフォーラム(平成25年9月5日)          ・自由民主党岩手県支部連合会、岩手県議会自由民主クラブ(平成25年8月22日)          ・日本共産党岩手県員会、同岩手県議団、同盛岡市議団、同紫波町議団、同矢巾町議団、同雫石町議(平成25年8月21日)          ・自由民主党岩手県支部連合会、岩手県議会自由民主クラブ(平成24年12月12日)</p> <p><b>3 住民意見の状況とこれに対する対応</b></p> <p>岩崎川の事業計画については、「盛岡東圏域河川整備計画」の策定に伴い開催した公聴会や、地域住民で形成される岩崎川ワークショップの場において、意見や提言をいただいている。          公聴会及びワークショップ並びに太田川河川改修計画説明会では、河川改修事業計画に対する反対意見等は無く、その他にワークショップでは維持管理等に対する要望があった。</p> <p>○盛岡東圏域河川整備計画公聴会 1回(平成18年2月24日)  <b>【意見等】</b>(岩崎川関連事項のみ特筆)          1. 沿川の都市化が進み、集中豪雨により被害が発生し、地域住民から洪水対策についての問い合わせが増えており、土地利用規制による洪水調整区域等を設けられないか。          2. 盛岡東圏域河川整備計画は、予算が厳しい状況の中で、あと20~30年で事業を完了出来るのか。  <b>【対応(回答)】</b>          1. 現時点で洪水調整区域の設定等の土地利用規制の必要は高いと考えているが、具体的な対応は今後の検討課題である。          (質問の内容は、平成14年7月の台風6号による洪水で岩崎川が増水となり準用河川赤沼川の内水排除が出来なくなり、高水寺地内で浸水被害になった箇所を指して話されたものであり、現在、県で内水対策事業により対策済みである。)          2. 計画は、現在の社会情勢を考慮しても20~30年以内には事業を完了出来ると判断している。</p> <p>○岩崎川ワークショップ 16回(平成18年~平成27年)  <b>【意見等】</b>          1. 飛び石や遊歩道など親水空間、東屋やベンチなどの憩いの場を創出してほしい。          2. 土手に木を植えるなどの環境整備を実施してほしい。          3. 環境整備を実施した施設については、将来的に県と地域住民より協働で管理を行うことが望ましい。          4. 工事で支障となる桜の木の伐採本数を最小限として欲しい。  <b>【対応(回答)】</b>          ・遊歩道の設置による親水空間の創出については、現地で対応済み。飛び石の設置については、安全上の課題等があることから未実施であり、今後も引き続き地域住民との協議会等を通じて検討していく。          ・環境整備や県と地域住民との協働による施設の維持管理については、今後、地域住民との協議会等を通じて対応を検討していく。          ・桜の木の伐採本数を14本(全31本)に抑制したうえ、工事完了後に8本の植樹を行うこととしている。</p> <p>○一級河川太田川河川改修計画説明会 5回(令和元年度)  <b>【意見等】</b>          ・平成25年のような大雨に耐えられる計画であるか。  <b>【対応(回答)】</b>          ・同降雨に対応した計画である。</p>				

4 費用便益分析の詳細（算定方法、算出根拠等）

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル（案）令和2年4月 国土交通省 （単位：百万円）

区 分	事業着手時 (H4年度)	前回評価時 (H29年度)	今回評価時 (R4年度)		
				残事業B/C	
費用項目	①建設費	8,643	28,949	37,116	3,118
	②維持管理費	989	3,385	3,734	370
	③総費用 (C) ①+②	9,632	32,334	40,850	3,488
便益項目	④被害額の便益	88,355	691,366	840,817	17,256
	⑤残存価値	147	119	75	154
	⑥総便益 (B) ④+⑤	88,502	691,485	840,892	17,410
費用便益比 (B/C) ⑥/③		9.2	21.4	20.6	5.0

①建設費：施設整備に要する費用（河川改修費）を整備期間、評価期間で現在価値化して合計したものである。基準年以前の費用は、物価変動を考慮した実質価値に換算した後に現在価値化している。

②維持管理費：毎年定期的に支出される除草等の費用で、完成した施設に要した事業費の0.5%を現在価値化して計上している。

④被害軽減の便益：施設整備によって想定される年平均被害軽減額を現在価値化して合計したものである。

⑤残存価値：評価対象期間終了時点における施設等の価値。構造物は価値を10%とし、構造物以外（堤防・用地など）は減価しないものとしている。

5 環境対策の具体的内容

再評価調書に記載のとおり

6 代替案（見直し案）の検討内容

再評価調書に記載のとおり

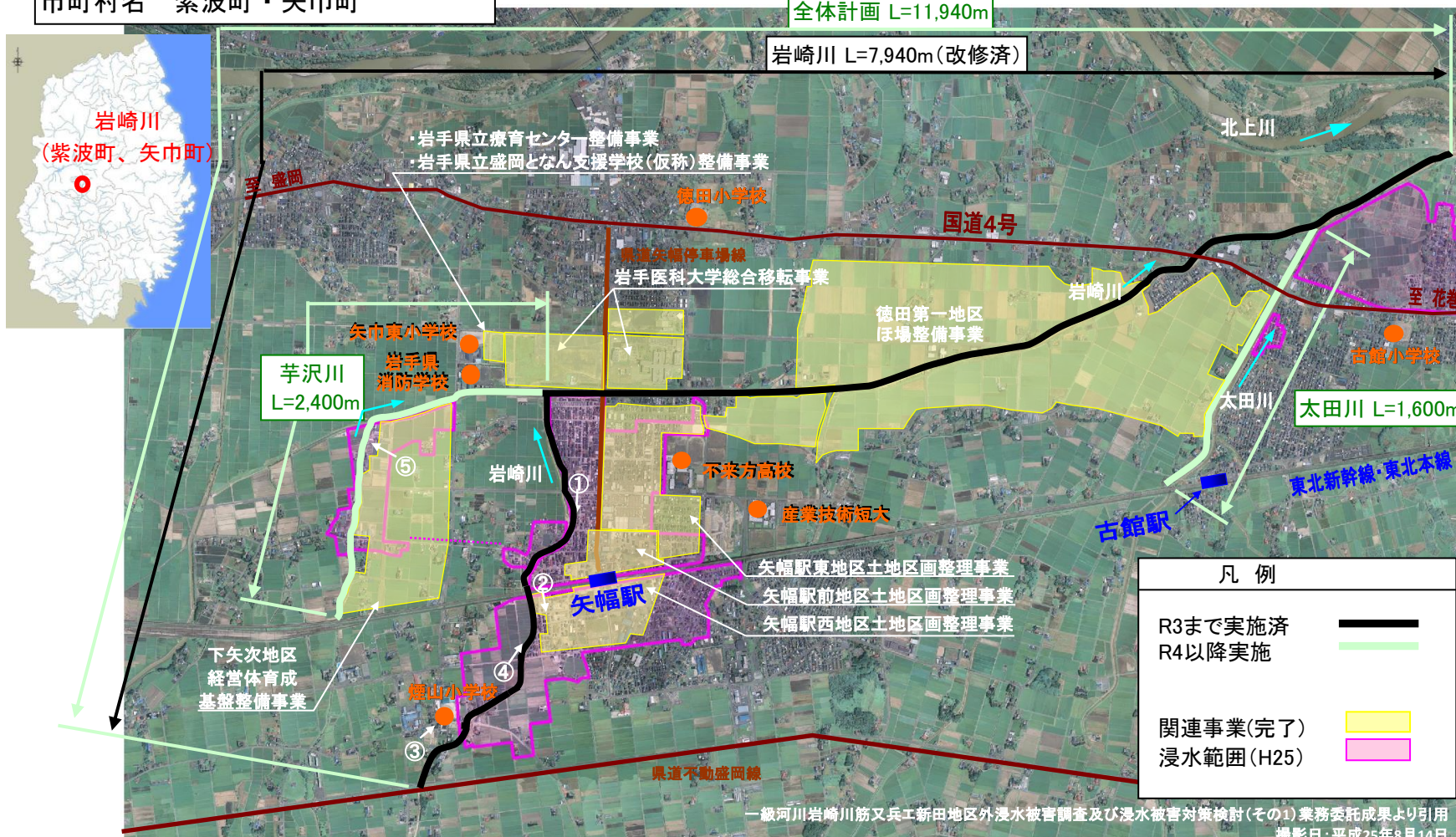


事業名 岩崎川広域河川改修事業  
 着手年度 平成4年度  
 市町村名 紫波町・矢巾町

# 岩崎川 計画平面図

全体計画 L=11,940m

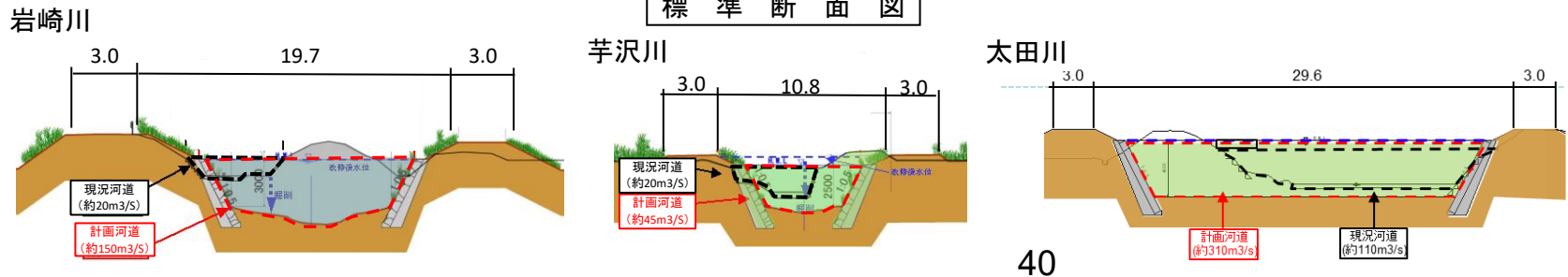
岩崎川 L=7,940m(改修済)



凡例	
R3まで実施済	— (黒線)
R4以降実施	— (緑線)
関連事業(完了)	■ (黄)
浸水範囲(H25)	■ (粉)

一級河川岩崎川筋矢兵工新田地区外浸水被害調査及び浸水被害対策検討(その1)業務委託成果より引用  
 撮影日:平成25年8月14日

## 標準断面図

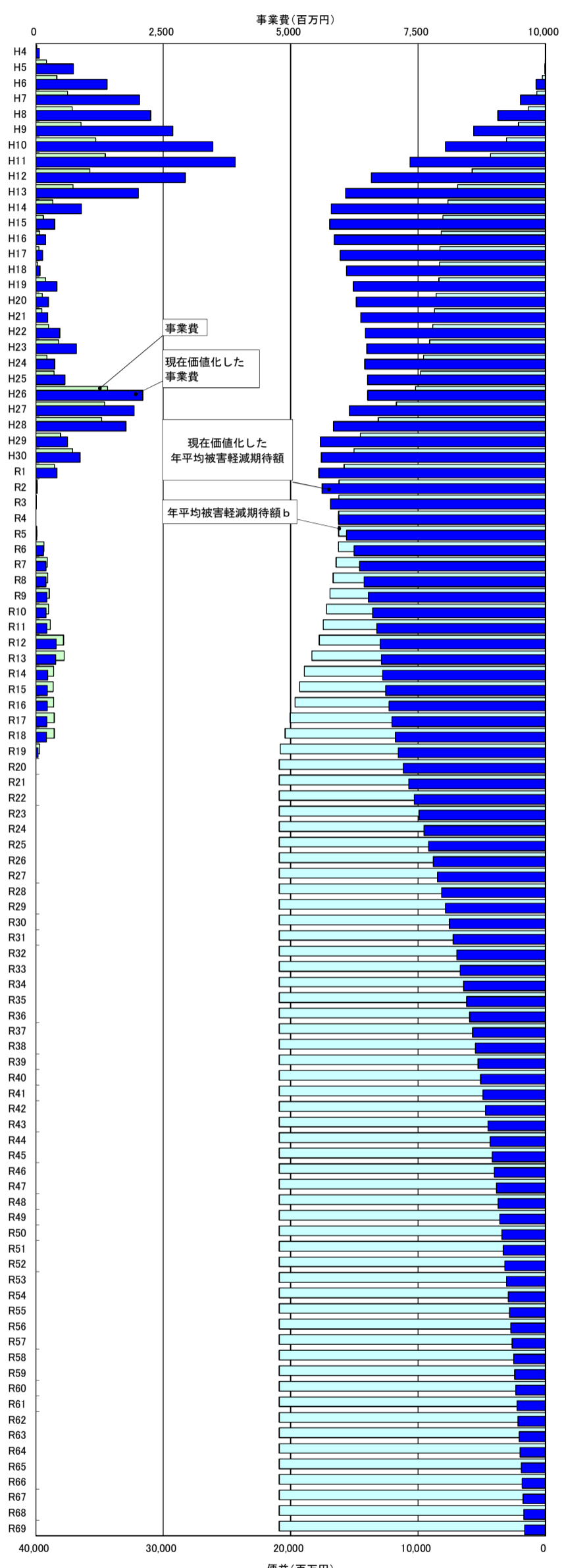




費用対効果計算書 (令和4年度評価 事業全体)

水系名: 北上川水系 河川名: 岩崎川及び芋沢川、太田川 単位: 百万円

期間	年度t	便益		費用					
		年平均被害軽減期待額b	年便益	建設費				維持管理費	
				費用	現在価値	治水事業指数	フルール換算	費用	現在価値
整備期間S	-30 H4	0.0	0.0	19.5	71.2	96.5	112.7	0.0	0.0
	-29 H5	20.8	64.8	209.2	737.9	96.2	113.1	2.1	7.5
	-28 H6	244.3	732.5	411.9	1,395.5	96.3	113.0	4.3	14.4
	-27 H7	684.3	1,972.9	622.7	2,034.8	96.0	113.3	6.4	20.8
	-26 H8	1,349.4	3,741.2	714.1	2,253.0	95.6	113.8	8.5	26.8
	-25 H9	2,112.2	5,630.7	889.5	2,684.5	96.1	113.2	10.6	32.1
	-24 H10	3,062.3	7,849.6	1,171.8	3,472.8	94.1	115.6	12.8	37.8
	-23 H11	4,314.0	10,632.8	1,359.2	3,914.9	93.1	116.9	14.9	42.9
	-22 H12	5,765.9	13,664.7	1,055.6	2,929.8	92.9	117.1	17.0	47.2
	-21 H13	6,893.5	15,708.7	733.3	2,006.6	90.6	120.1	19.1	52.4
	-20 H14	7,676.8	16,820.8	335.1	893.7	89.4	121.7	21.3	56.7
	-19 H15	8,034.8	16,928.0	145.0	371.8	89.4	121.7	23.4	60.0
	-18 H16	8,189.7	16,590.7	77.3	189.9	89.7	121.3	25.5	62.7
	-17 H17	8,272.2	16,113.4	57.3	134.7	90.2	120.6	27.6	64.9
	-16 H18	8,333.5	15,608.4	35.4	79.0	91.2	119.3	29.8	66.5
	-15 H19	8,371.2	15,076.1	193.5	409.5	92.6	117.5	31.9	67.5
	-14 H20	8,578.0	14,854.2	124.5	245.9	95.4	114.0	34.0	67.2
	-13 H21	8,711.0	14,504.4	121.0	237.2	92.4	117.7	36.1	70.9
	-12 H22	8,840.2	14,153.5	247.5	466.1	92.5	117.6	38.3	72.1
	-11 H23	9,104.6	14,016.1	450.4	795.8	94.8	114.8	40.4	71.4
	-10 H24	9,585.8	14,189.3	218.1	371.7	94.5	115.1	42.5	72.5
	-9 H25	9,818.7	13,975.1	356.5	572.2	96.5	112.7	44.6	71.7
	-8 H26	10,199.6	13,958.8	1,403.9	2,096.7	99.7	109.1	46.8	69.9
	-7 H27	11,699.3	15,395.4	1,347.4	1,929.1	100.0	108.8	48.9	70.0
	-6 H28	13,138.6	16,624.5	1,292.8	1,769.2	100.6	108.2	51.0	69.8
	-5 H29	14,519.6	17,665.3	485.8	624.9	102.9	105.7	53.2	68.4
	-4 H30	15,038.5	17,592.9	724.5	865.9	106.5	102.2	55.3	66.1
	-3 R1	15,812.4	17,786.8	367.0	412.8	108.8	100.0	57.4	64.6
	-2 R2	16,204.4	17,526.7	19.5	21.1	108.8	100.0	59.5	64.4
	-1 R3	16,225.3	16,874.3	9.1	9.5	108.8	100.0	61.7	64.1
0 R4	16,235.0	16,235.0	0.0	0.0	108.8	100.0	63.8	63.8	
1 R5	16,235.0	15,610.6	18.2	17.5	0.0	0.0	65.9	63.4	
2 R6	16,254.4	15,028.1	160.9	148.8	0.0	0.0	68.0	62.9	
3 R7	16,426.3	14,602.9	220.9	196.4	0.0	0.0	70.2	62.4	
4 R8	16,662.3	14,243.0	230.0	196.6	0.0	0.0	72.3	61.8	
5 R9	16,908.0	13,897.1	262.7	215.9	0.0	0.0	74.4	61.2	
6 R10	17,188.6	13,584.4	248.2	196.1	0.0	0.0	76.5	60.5	
7 R11	17,453.7	13,263.4	282.7	214.9	0.0	0.0	78.7	59.8	
8 R12	17,755.7	12,973.9	545.5	398.6	0.0	0.0	80.8	59.0	
9 R13	18,338.4	12,884.3	553.6	389.0	0.0	0.0	82.9	58.3	
10 R14	18,929.8	12,788.3	346.5	234.1	0.0	0.0	85.0	57.5	
11 R15	19,299.9	12,536.8	339.9	220.8	0.0	0.0	87.2	56.6	
12 R16	19,663.0	12,281.4	353.6	220.9	0.0	0.0	89.3	55.8	
13 R17	20,040.7	12,035.9	362.3	217.6	0.0	0.0	91.4	54.9	
14 R18	20,427.7	11,796.5	362.1	209.1	0.0	0.0	93.5	54.0	
15 R19	20,814.5	11,557.6	75.6	42.0	0.0	0.0	95.7	53.1	
16 R20	20,895.3	11,156.2					97.8	52.2	
17 R21	20,895.3	10,727.1					97.8	50.2	
18 R22	20,895.3	10,314.5					97.8	48.3	
19 R23	20,895.3	9,917.8					97.8	46.4	
20 R24	20,895.3	9,536.3					97.8	44.6	
21 R25	20,895.3	9,169.6					97.8	42.9	
22 R26	20,895.3	8,816.9					97.8	41.3	
23 R27	20,895.3	8,477.8					97.8	39.7	
24 R28	20,895.3	8,151.7					97.8	38.2	
25 R29	20,895.3	7,838.2					97.8	36.7	
26 R30	20,895.3	7,536.7					97.8	35.3	
27 R31	20,895.3	7,246.8					97.8	33.9	
28 R32	20,895.3	6,968.1					97.8	32.6	
29 R33	20,895.3	6,700.1					97.8	31.4	
30 R34	20,895.3	6,442.4					97.8	30.2	
31 R35	20,895.3	6,194.6					97.8	29.0	
32 R36	20,895.3	5,956.4					97.8	27.9	
33 R37	20,895.3	5,727.3					97.8	26.8	
34 R38	20,895.3	5,507.0					97.8	25.8	
35 R39	20,895.3	5,295.2					97.8	24.8	
36 R40	20,895.3	5,091.5					97.8	23.8	
37 R41	20,895.3	4,895.7					97.8	22.9	
38 R42	20,895.3	4,707.4					97.8	22.0	
39 R43	20,895.3	4,526.4					97.8	21.2	
40 R44	20,895.3	4,352.3					97.8	20.4	
41 R45	20,895.3	4,184.9					97.8	19.6	
42 R46	20,895.3	4,023.9					97.8	18.8	
43 R47	20,895.3	3,869.2					97.8	18.1	
44 R48	20,895.3	3,720.3					97.8	17.4	
45 R49	20,895.3	3,577.2					97.8	16.7	
46 R50	20,895.3	3,439.7					97.8	16.1	
47 R51	20,895.3	3,307.4					97.8	15.5	
48 R52	20,895.3	3,180.2					97.8	14.9	
49 R53	20,895.3	3,057.8					97.8	14.3	
50 R54	20,895.3	2,940.2					97.8	13.8	
51 R55	20,895.3	2,827.2					97.8	13.2	
52 R56	20,895.3	2,718.4					97.8	12.7	
53 R57	20,895.3	2,613.9					97.8	12.2	
54 R58	20,895.3	2,513.3					97.8	11.8	
55 R59	20,895.3	2,416.7					97.8	11.3	
56 R60	20,895.3	2,323.7					97.8	10.9	
57 R61	20,895.3	2,234.3					97.8	10.5	
58 R62	20,895.3	2,148.4					97.8	10.1	
59 R63	20,895.3	2,065.8					97.8	9.7	
60 R64	20,895.3	1,986.3					97.8	9.3	
61 R65	20,895.3	1,909.9					97.8	8.9	
62 R66	20,895.3	1,836.5					97.8	8.6	
63 R67	20,895.3	1,765.8					97.8	8.3	
64 R68	20,895.3	1,697.9					97.8	8.0	
65 R69	20,895.3	1,632.6					97.8	7.6	
合計		1,574,198	840,817	19,561	37,116			7,091	3,734



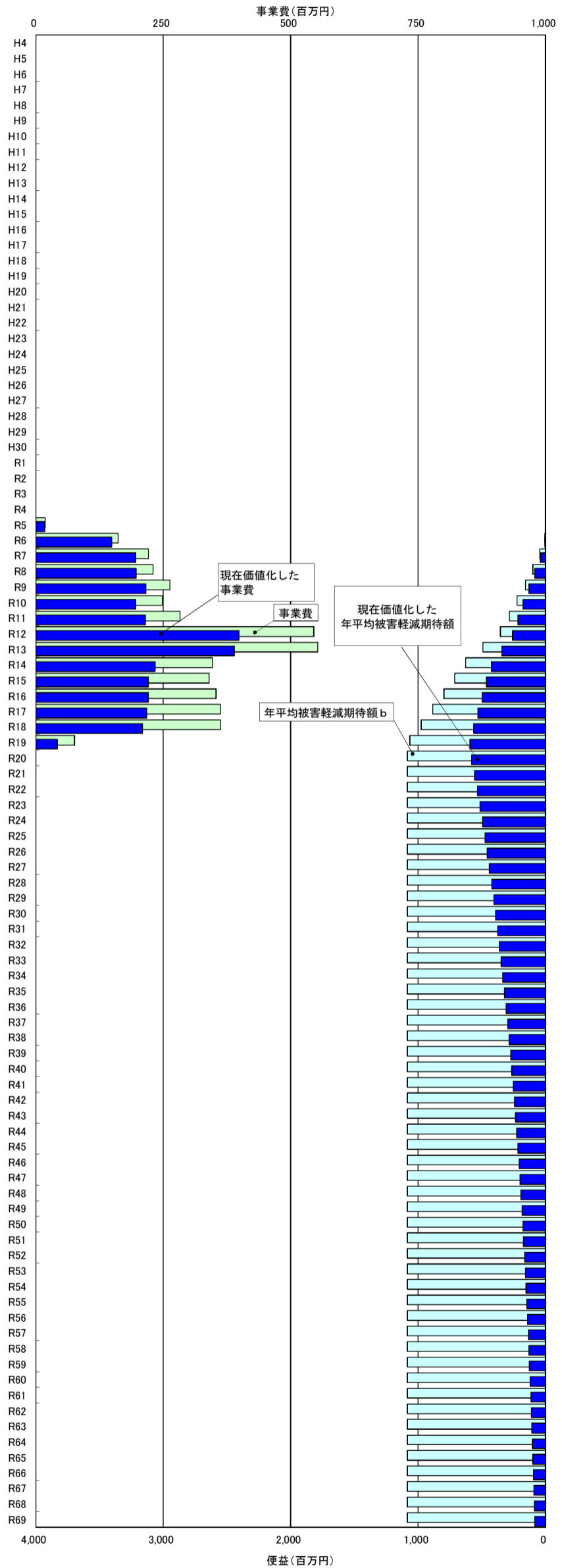
年平均被害軽減期待額b	20,895 百万円	建設費	37,116 百万円 = (O)
便益	840,817 百万円 = (R)	維持管理費	3,734 百万円 = (P)
残存価値	75 百万円 = (S)		
築堤・掘削	17 百万円 = (築堤・掘削の総費用)/(1+0.04) <sup>50</sup> =		746/(1+0.04) <sup>50</sup>
護岸等構造物	8 百万円 = (護岸等構造物の総費用)×0.1/(1+0.04) <sup>50</sup> =		3,461×0.1/(1+0.04) <sup>50</sup>
用地費	50 百万円 = (用地費の総費用)/(1+0.04) <sup>50</sup> =		2,140/(1+0.04) <sup>50</sup> s: 整備期間 (46年)
総便益B	840,892 百万円 = (T) = (R) + (S)	総事業費C	40,850 百万円 = (Q) = (O) + (P)
		B/C =	20.6 = (U)

※ 維持管理費: 毎年定期的に支出される除草等の費用で、完成した施設に要した事業費の0.5%を現在価値化して計上している。

費用対効果計算書 (令和4年度評価 残事業)

水系名: 北上川水系 河川名: 岩崎川及び芋沢川、太田川 単位: 百万円

期間	年度t	便益		費用							
		年平均被害軽減期待額b	年便益	建設費				維持管理費			
				費用	現在価値	治水事業指数	フルール換算	費用	現在価値		
既往整備期間(30年)	-30	H4									
	-29	H5									
	-28	H6									
	-27	H7									
	-26	H8									
	-25	H9									
	-24	H10									
	-23	H11									
	-22	H12									
	-21	H13									
	-20	H14									
	-19	H15									
	-18	H16									
	-17	H17									
	-16	H18									
	-15	H19									
	-14	H20									
	-13	H21									
	-12	H22									
	-11	H23									
	-10	H24									
	-9	H25									
	-8	H26									
	-7	H27									
	-6	H28									
	-5	H29									
	-4	H30									
	-3	R1									
	-2	R2									
	-1	R3									
0	R4	0.0	0.0	0.0	0.0	108.8	100.0	0.0	0.0	0.0	
1	R5	0.0	0.0	18.2	17.5	0.0	0.0	1.4	1.3		
2	R6	4.5	4.2	160.9	148.8	0.0	0.0	2.7	2.5		
3	R7	44.5	39.6	220.9	196.4	0.0	0.0	4.1	3.6		
4	R8	99.4	85.0	230.0	196.6	0.0	0.0	5.5	4.7		
5	R9	156.6	128.7	262.7	215.9	0.0	0.0	6.8	5.6		
6	R10	221.9	175.4	248.2	196.1	0.0	0.0	8.2	6.5		
7	R11	283.6	215.5	282.7	214.9	0.0	0.0	9.5	7.3		
8	R12	353.8	258.5	545.5	398.6	0.0	0.0	10.9	8.0		
9	R13	489.4	343.8	553.6	389.0	0.0	0.0	12.3	8.6		
10	R14	627.0	423.6	346.5	234.1	0.0	0.0	13.6	9.2		
11	R15	713.1	463.2	339.9	220.8	0.0	0.0	15.0	9.7		
12	R16	797.6	498.2	353.6	220.9	0.0	0.0	16.4	10.2		
13	R17	885.5	531.8	362.3	217.6	0.0	0.0	17.7	10.6		
14	R18	975.5	563.3	362.1	209.1	0.0	0.0	19.1	11.0		
15	R19	1,065.5	591.6	75.6	42.0	0.0	0.0	20.4	11.4		
16	R20	1,084.3	578.9					21.8	11.6		
17	R21	1,084.3	556.7					21.8	11.2		
18	R22	1,084.3	535.2					21.8	10.8		
19	R23	1,084.3	514.7					21.8	10.4		
20	R24	1,084.3	494.9					21.8	10.0		
21	R25	1,084.3	475.8					21.8	9.6		
22	R26	1,084.3	457.5					21.8	9.2		
23	R27	1,084.3	439.9					21.8	8.9		
24	R28	1,084.3	423.0					21.8	8.5		
25	R29	1,084.3	406.7					21.8	8.2		
26	R30	1,084.3	391.1					21.8	7.9		
27	R31	1,084.3	376.1					21.8	7.6		
28	R32	1,084.3	361.6					21.8	7.3		
29	R33	1,084.3	347.7					21.8	7.0		
30	R34	1,084.3	334.3					21.8	6.7		
31	R35	1,084.3	321.5					21.8	6.5		
32	R36	1,084.3	309.1					21.8	6.2		
33	R37	1,084.3	297.2					21.8	6.0		
34	R38	1,084.3	285.8					21.8	5.8		
35	R39	1,084.3	274.8					21.8	5.5		
36	R40	1,084.3	264.2					21.8	5.3		
37	R41	1,084.3	254.1					21.8	5.1		
38	R42	1,084.3	244.3					21.8	4.9		
39	R43	1,084.3	234.9					21.8	4.7		
40	R44	1,084.3	225.9					21.8	4.5		
41	R45	1,084.3	217.2					21.8	4.4		
42	R46	1,084.3	208.8					21.8	4.2		
43	R47	1,084.3	200.8					21.8	4.0		
44	R48	1,084.3	193.1					21.8	3.9		
45	R49	1,084.3	185.6					21.8	3.7		
46	R50	1,084.3	178.5					21.8	3.6		
47	R51	1,084.3	171.6					21.8	3.5		
48	R52	1,084.3	165.0					21.8	3.3		
49	R53	1,084.3	158.7					21.8	3.2		
50	R54	1,084.3	152.6					21.8	3.1		
51	R55	1,084.3	146.7					21.8	3.0		
52	R56	1,084.3	141.1					21.8	2.8		
53	R57	1,084.3	135.6					21.8	2.7		
54	R58	1,084.3	130.4					21.8	2.6		
55	R59	1,084.3	125.4					21.8	2.5		
56	R60	1,084.3	120.6					21.8	2.4		
57	R61	1,084.3	115.9					21.8	2.3		
58	R62	1,084.3	111.5					21.8	2.2		
59	R63	1,084.3	107.2					21.8	2.2		
60	R64	1,084.3	103.1					21.8	2.1		
61	R65	1,084.3	99.1					21.8	2.0		
62	R66	1,084.3	95.3					21.8	1.9		
63	R67	1,084.3	91.6					21.8	1.8		
64	R68	1,084.3	88.1					21.8	1.8		
65	R69	1,084.3	84.7					21.8	1.7		
合計		60,933	17,256	4,363	3,118			1,254	370		



年平均被害軽減期待額 b	1,084 百万円	建設費	3,118 百万円 = (O)
便益	17,256 百万円 = (R)	維持管理費	370 百万円 = (P)
残存価値	154 百万円 = (S)		
築堤・掘削	14 百万円 = (築堤・掘削の総費用)/(1+0.04) <sup>50</sup> =		186 / (1+0.04) <sup>50</sup>
護岸等構造物	9 百万円 = (護岸等構造物の総費用)*0.1/(1+0.04) <sup>50</sup> =		1,163 *0.1/(1+0.04) <sup>50</sup>
用地費	131 百万円 = (用地費の総費用)/(1+0.04) <sup>50</sup> =		1,741 / (1+0.04) <sup>50</sup> s: 整備期間 (16年)
総便益 B	17,410 百万円 = (T) = (R) + (S)	総事業費 C	3,488 百万円 = (O) = (O) + (P)      B/C = 5.0 = (U)

※ 維持管理費: 毎年定期的に支出される除草等の費用で、完成した施設に要した事業費の0.5%を現在価値化して計上している。



# 大規模事業再評価の概要

## 岩崎川広域河川改修事業

令和4年6月13日

岩手県県土整備部河川課

# 事業概要

## 位置図



## 事業内容

### 岩崎川広域河川改修事業 (紫波町、矢巾町)

事業延長 11,940m

(内訳) 岩崎川 L = 7,940m

芋沢川 L = 2,400m

太田川 L = 1,600m

総事業費 20,414百万円

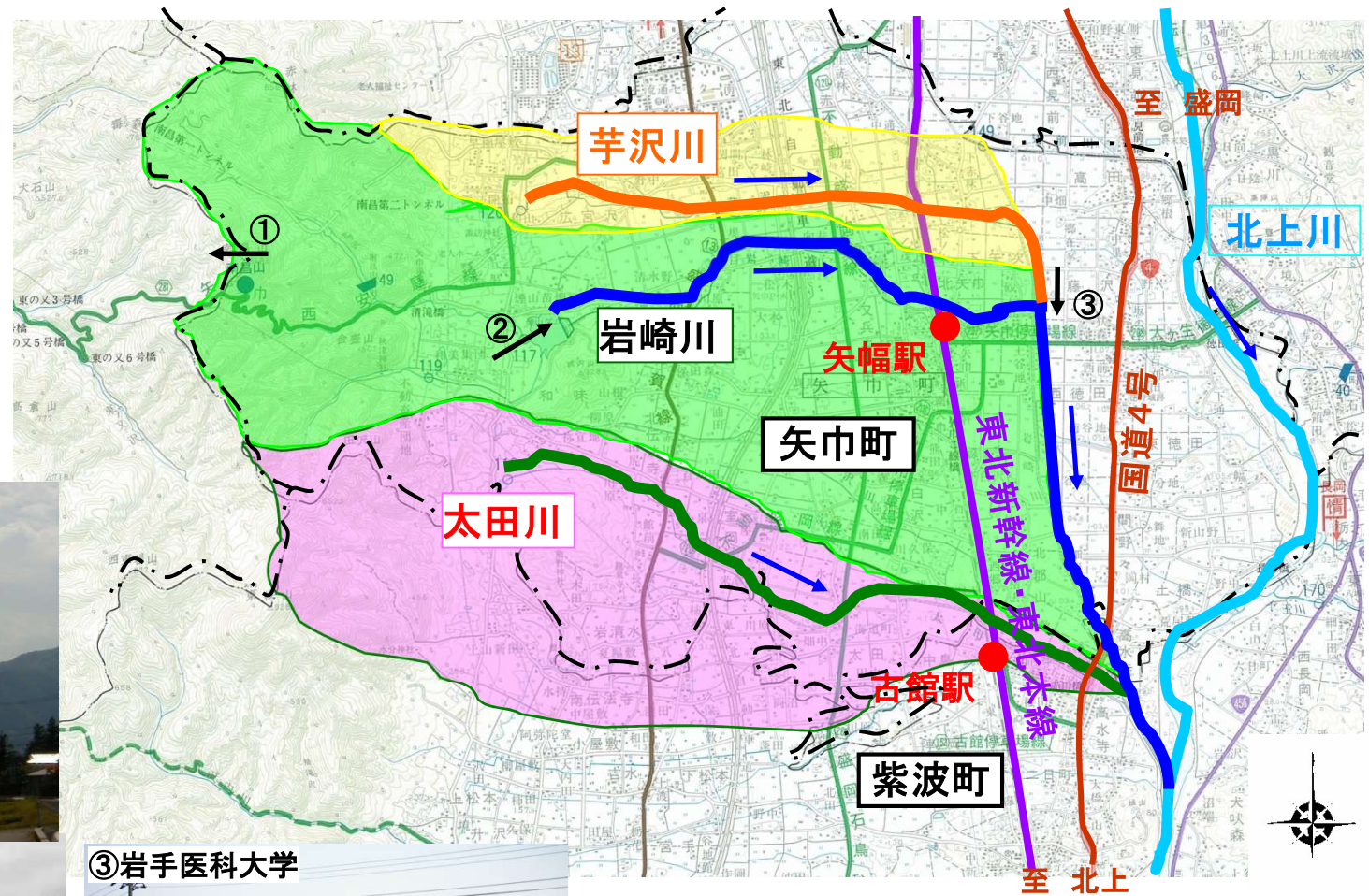
事業期間 平成4年度～令和19年度

(前回評価時：～令和8年度)

治水安全度 1 / 30

# 事業概要

## 位置図



①南昌山



②煙山ダム



③岩手医科大学



### ◆ 水系名・河川名:

一級河川北上川水系岩崎川

◆ 改修計画延長: 11.94km

◆ 流域面積: 68.9km<sup>2</sup>



# 事業概要

## 平成25年8月9日洪水被災状況

①岩崎川浸水状況



②岩崎川浸水状況



③芋沢川浸水状況



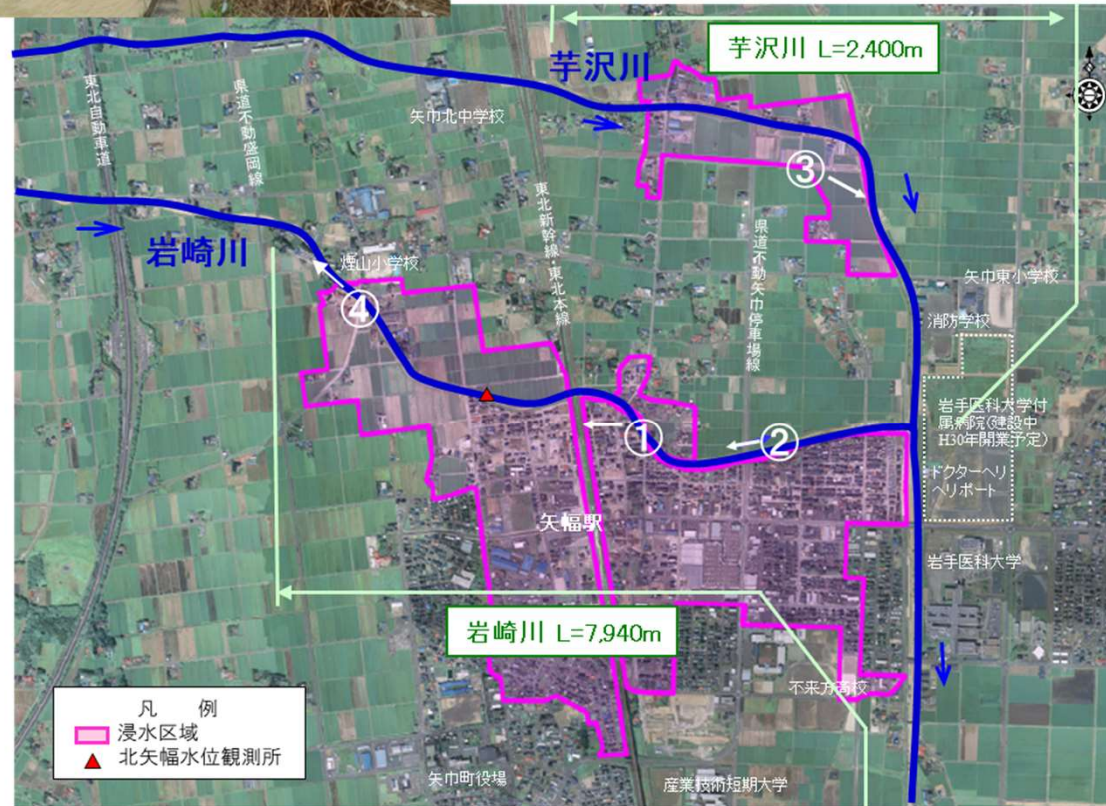
④岩崎川浸水状況



岩崎川の浸水被害状況 (矢巾町)

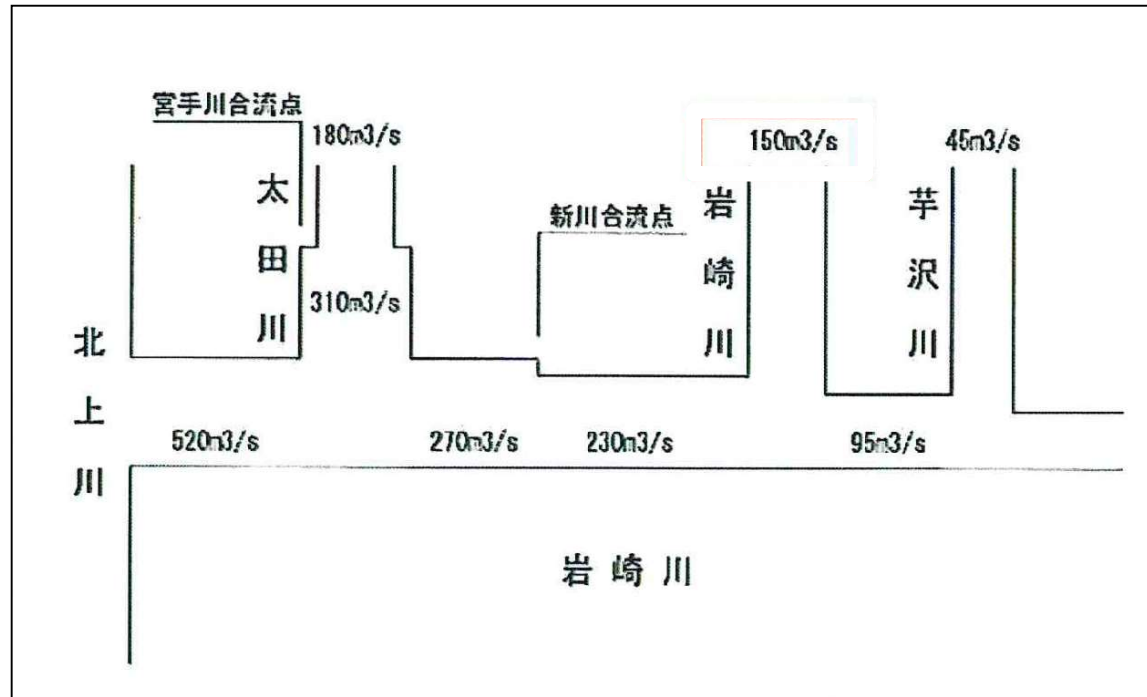
出水年月日	河川	市町村	浸水戸数(戸)			備考
			床上	床下	計	
H25.8.9	岩崎川 (芋沢川)	矢巾町	97 (1)	307 (21)	404 (22)	

※ ( ) 内は、芋沢川流域の浸水戸数

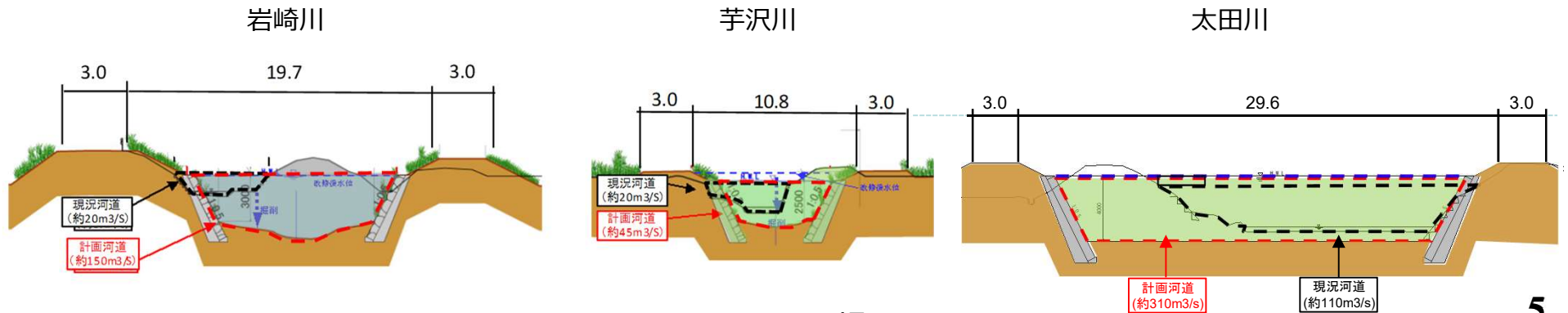


# 事業概要

## 流量配分図



## 改修断面









# 事業の進捗状況等



【写真① 岩崎川橋（H25.8被災直後）】



【写真① 岩崎川橋（H28.6供用）】



【写真② 六助橋～矢次ノ外橋（着手前）】



【写真② 六助橋～矢次ノ外橋（R3.3完成）】 7

## (1) 事業の進捗状況 (中項目評価)

### ○未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し

- ・事業期間の延伸は、県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算を重点的に配分する必要があることによるもの。
- ・今後も予算確保に努めるとともに、工事実施に当たってはコスト縮減などに取り組んでいく。
- ・芋沢川、太田川の事業進捗が図られるまでの洪水に対し、住民の避難行動を促すため、想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を令和4年3月22日に公表したところ。



- ・県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算の重点的な配分のなど、本事業の進捗を阻害する要因はあるものの、一定の期間等を要することにより解決できる見込みであり、竣工の見通しがあることから「b」とした。

「事業計画の進捗状況」の中項目評価

a ・ **b** ・ c



# 事業の進捗状況等

## (2) 事業計画の変更の有無及び内容 (中項目評価)

- ・施工区間や主要な工事内容の変更はなし。
- ・事業完了年度: 令和8年度 ⇒ 令和19年度に延伸



- ・変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、事業期間に関する変更であり、大幅な変更ではないため「b」とした。

「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価	a ・ <b>b</b> ・ c
------------------------	------------------

## 事業の進捗状況等(大項目評価)

- ・中項目評価が「b」、「b」であることから、大項目評価を「BB」とした

「事業の進捗状況等」の大項目評価	AA ・ A ・ <b>BB</b> ・ B ・ C
------------------	----------------------------

# 社会経済情勢等の変化

## (1) 事業に関する社会経済情勢 (中項目評価)

・本事業のあり方についての議論や見直しの検討なし ⇒「a」とした

「事業計画に関する社会経済情勢」の中項目評価 **a** ・ b ・ c

## (2) 事業に関する評価指標の推移(中項目評価)

・各評価指標の評点の合計が、事業着手時の90%以上 ⇒「a」とした

評価指標		配点	事業着手時 評点	前回再評価 時評点(A)	今回再評価 時評点(B)	増減 (B)-(A)	備考
必要性	想定氾濫被害額、防護人口、 公共施設・弱者施設、輸送施設	30点	30点	30点	30点		
重要性	総合計画上の位置付け	5点	5点	5点	5点		
緊急性	過去10年間の水害被害実績、回数 他事業関連の有無、流下能力比	15点	13点	12点	13点	1点	H25 ※
効率性	費用便益比 (B/C)	40点	40点	40点	40点		前回 B/C : 21.4 今回 B/C : 20.6
熟度	地元要望、地元協力	10点	5点	10点	10点		
計		100点	93点	97点	98点	1点	今回評価/着手時 101%

※ 「過去10年間の水害被害実績」がH25洪水を速報値から公表値に修正したため+2点

「過去10年間の被災回数」がH19洪水が外れたため、-1点  
よって、2-1=1点

「事業計画に関する評価指標の推移」の中項目評価 **a** ・ b ・ c

# 社会経済情勢等の変化

## B / Cの補足事項

(百万円)

区 分		事業着手時 (H4年度)	前回評価時 (H29年度)	今回評価時 (R4年度)	備考
費用項目	①建設費	8,643	28,949	37,116	※1
	②維持管理費	989	3,385	3,734	※2
	③総費用(C)	9,632	32,334	40,850	
便益項目	④被害額の便益	88,355	691,366	840,817	※3
	⑤残存価値	147	119	75	※4
	⑥総便益(B) ④+⑤	88,502	691,485	840,892	
費用便益比(B/C) ⑥/③		9.2	21.4	20.6	※5

- ※1 「建設費」の増は、現在価値化による。(事業費の増減は無し)
- ※2 「維持管理費」の増は、前回評価以降の整備促進及び現在価値化による。
- ※3 「被害額の便益」の増は、治水経済調査マニュアル改訂に伴い公共土木施設の評価額算定方法が変更となり公共土木施設等被害額は減少しているものの、岩手医大等の一般資産の集積が著しいことによる。
- ※4 「残存価値」の減は、整備期間の延長及び現在価値化による。

## 社会経済情勢等の変化

### (3) 自然環境の状況及び環境配慮事項(中項目評価)

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 「E」
  - ・埋蔵文化財包蔵地の有無 「あり」
  - ・希少野生動植物生息の有無 「あり」
  - ・希少野生動植物調査検討委員会への付議 「付議あり」
- 周辺で鳥類の古巣を確認。  
支障木の伐採は繁殖期（4月～7月）を避ける。

### 自然環境の状況及び環境配慮事項(中項目評価)

- ・自然環境保全指針に沿って積極的な対応を検討していることから「a」とした

「自然環境等の状況及び環境配慮事項」の中項目評価 **a** ・ b ・ c

### 社会経済情勢等の変化(大項目評価)

- ・中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「AA」とした

「社会経済情勢等の変化」の大項目評価 **AA** ・ A ・ B ・ C

# コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

## (1) コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

- 近隣他事業へ残土流用したことによる縮減額 約30百万円  
(残土運搬距離を短縮した)

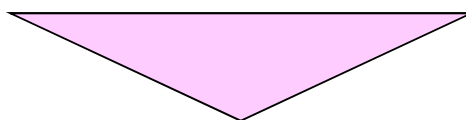
## (2) 代替案立案の可能性

- 代替案として考えられる遊水地やダムによる治水手法は、経済比較等を行い、河川改修による治水対策が妥当と判断している。
- 現時点において、今後における代替案立案の可能性はない。

## 総合評価

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資 事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考		
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
H4	R19	20,414	15,789.1	77	BB	b	b	AA	a	a	a	98	20.6

- 「事業の進捗状況等」については、事業期間を延伸するものの、事業計画に大幅な変更は無く、確実な竣工が見込まれることから、今後も事業を推進し、治水安全度の向上を図っていく。
- 「社会情勢等の変化」については、「事業に関する社会情勢」及び「自然環境との状況」に関して大きな変化はないところ。また、「事業に関する評価指標の推移」において、緊急性の指標が減少しているが、過去に大規模な洪水被害を受けており、沿川住民の生命及び財産を守るため、引き続き整備を進めていく必要がある。
- 事業の進捗等の評価が「BB」、社会経済情勢等の変化が「AA」。



**事業継続**

# 大規模公共事業再評価調書の概要

## へいがわ (閉伊川総合流域防災事業)

担当部課：県土整備部河川課

- 1 事業概要** (河川名：二級河川閉伊川水系閉伊川、近内川、山口川、 所在市町村：宮古市)
- 事業目的： 近内川・山口川は、断面が狭小で治水安全度が低いため、大雨のときには氾濫の恐れが高く、平成 11 年 7 月豪雨では、家屋や農地等の浸水被害が発生しており、本事業により断面の拡大を図り、沿川の浸水被害を軽減することにより、安全で安心できる地域づくりに寄与するものである。
  - 事業内容：延長 L=6,475m (閉伊川 L=1,000m、近内川 L=3,700m、山口川 L=1,775m)  
築堤 L=1,800m、掘削 V=223,800m<sup>3</sup>、護岸 A=41,200m<sup>2</sup>
  - 事業期間：昭和 39 年度 ～ 令和 14 年度 (前回評価時：令和 7 年度)
  - 総事業費：5,730 百万円 (前回評価時：5,730 百万円)  
(令和 4 年度までの投資額 3,892.0 百万円、進捗率 68%)

## 2 事業の進捗状況等

- 当事業は、閉伊川河口部より上流へ向け改修を実施し、昭和 45 年度までに閉伊川工区を暫定完了した。同年度から閉伊川支川の山口川・近内川の改修に着手している。
- 近内川については、上流域の土地区画整理事業と連携して改修を進み、令和 3 年度に完了した。
- 山口川については、平成 2 年度まで河川改修を行い、橋梁を含む未改修区間約 400mを除いて、改修済みである。
- 今後、山口川の流下能力が不足している区間に着手することとしている。

## 3 社会経済情勢等の変化

- 本県では、令和元年 10 月の小屋畑川・沢川 (久慈市) の洪水や平成 28 年 8 月の台風 10 号の小本川 (岩泉町) などの洪水、平成 25 年 7 月の砂鉄川 (一関市)、8 月の岩崎川 (矢巾町) 及び雫石川 (雫石町) の洪水など、近年大規模な浸水被害が各地で発生しており、県民の河川・海岸など防災事業に対する関心は依然として高く、効果的な事業の進捗に努める必要がある。
- 事業地域では、平成 11 年、平成 28 年に洪水被害を受けているほか、山口川の沿川では住宅地や商業施設の集積により資産が集中していることから、地域住民の治水事業に対する関心も非常に強い。
- 事業実施にあたっては、現地での環境調査結果に基づき、振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会の意見を聴きながら、事業実施による周辺環境への影響を可能な限り低減させることとしている。
- ソフト施策として、県では閉伊川の洪水浸水想定区域を指定しており、市では洪水ハザードマップを公表しているほか、水位計や河川監視カメラを設置しインターネットで公開するなど防災情報の提供に努めている。

## 4 コスト縮減対策及び代替案

- 護岸工については工法を比較検討のうえ最適な工法を採用するなどコストの縮減に努める。
- 遊水地やダム建設、放水路等との組み合わせによる手法が考えられるが、流域の地形、土地利用状況、社会的・自然的影響を総合的に勘案し、河川改修による治水対策が妥当と判断した。

## 5 総合評価

- 「事業の進捗状況等」については、河川改修計画に変更が生じていないもの、事業期間を延伸することから、大項目評価を【BB】としている。
- 「社会経済情勢等」の変化については、前回評価時から大きな変化はないことから【AA】としている。
- 以上のことから総合評価は「事業継続」と評価したものである。

大規模公共事業 再評価調書

令和 4 年 5 月 25 日 作成

事業名	総合流域防災事業（河川）		補助・単独	担当部課名	県土整備部河川課			
路線名等	二級河川閉伊川水系閉伊川 <sup>へいがわ</sup>	地区名	-		市町村	宮古市		
事業概要	〔事業根拠法令等：河川法第10条〕							
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>閉伊川沿川では、三陸沿岸の拠点である宮古市街地が広がっているほか、国道45号、三陸鉄道をはじめ多くの交通網が密集する沿岸地域の要衝となっている。</li> <li>本流域においては、昭和22年、23年のカスリン、アイオン台風による浸水被害をはじめ、近年では平成11年7月、平成28年8月豪雨により甚大な被害が発生している。</li> </ul> <p>○整備により得られる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業により、閉伊川は100年に1度、近内川、山口川は50年に1度の確率による降雨で発生すると考えられる洪水被害からの解消が図られる。</li> </ul>							
	<p>(2) 事業内容</p> <p>事業延長 L=6,475m（閉伊川L=1,000m、近内川L=3,700m、山口川L=1,775m）</p> <p>事業内容 築堤 L=1,800m、掘削 V=223,800m<sup>3</sup>、護岸 A=41,200m<sup>2</sup></p>							
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>治水安全度：〔閉伊川〕1/100、〔近内川・山口川〕1/50 〔治水基準点：宮古市千徳〕</p>							
事業着手	S39年度	事業計画期間	S39	～	R14 今回評価時全体計画期間 R7 前回評価時全体計画期間 R5 当初全体計画期間	用地着手	S42年度 工事着手 S43年度	
事業費	当初計画総事業費 (S39) (うち用地費)	前回評価時総事業費 (H29) (うち用地費)	今回評価時総事業費 (R4) A (うち用地費)	事業費の状況〔百万円〕				進捗率 F=E/A
				S39年～ B R2年	C R3年	D R4年	投資事業費 E=B+C+D	
	980.0 (310.0)	5,730.0 (748.0)	5,730.0 (748.0)	3,790.0 (696.6)	86.0 (R2補正) (0.0)	16.0 (R3補正) (0.0)	3,892.0 (696.6)	
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況							
	<p>ア 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和45年度に閉伊川、令和3年度に近内川の改修が完了し、一定の治水効果を発現しているところ。</li> <li>今後、山口川について整備を行い、治水安全度の向上を図ることとしている。</li> </ul> <p>イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <p>①理由：事業期間の延伸は、県内に多発する洪水被害の緊急対応等への予算を重点的に配分する必要があることによるものである。</p> <p>②解決の見通し（難易度）：今後も予算確保に努めるとともに、工事实施にあたってはコスト削減などに取り組んでいく。</p> <p>③解決までの対応及び期間：閉伊川、近内川の改修が完了し、一定の治水効果は発現している状況。山口川の事業進捗が図られるまでの洪水に対し、住民の避難行動を促進するため、令和元年度に危機管理型水位計を設置しホームページ上で水位情報を公開しているほか、今後、山口川の洪水浸水想定区域図の作成に取り組むこととしている。</p> <p>○中項目評価は、県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算の重点的な配分など、本事業の進捗を阻害する要因はあるものの、一定の期間等を要することにより解決できる見込みであり、竣工の見通しがあることから「b」とした。</p>							
	<p style="text-align: right;">中項目評価 a . (b) . c</p>							
	<p>(2) 事業計画の変更の有無及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間の延伸（S39～R7 → S39～R14）</li> </ul> <p>○中項目評価は、変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、事業期間に関する変更であり、大幅な変更ではないため「b」とした。</p> <p style="text-align: right;">中項目評価 a . (b) . c</p> <p>○中項目評価が「b」、「b」であることから、大項目評価を「BB」とした。</p>							
<p style="text-align: right;">評価 AA・A・(BB)・B・C</p>								



(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

・平成23年3月11日の東日本大震災による津波や、平成30年6、7月に西日本を中心に発生した集中豪雨及び令和元年10月の台風第19号などに見られるように、自然災害により尊い人命や家屋等の財産が甚大な被害を受けていることから、今後も着実にハード整備を進めるとともに、安全な避難等のための洪水情報等の提供の充実などソフト施策の充実を図り、災害時に避難が行われるよう住民の意識啓発に努めていく必要がある。

イ 本県内の状況

・平成23年3月11日の東日本大震災による津波により、沿岸域で6千名弱の死者・行方不明者など甚大な被害を被っている。また近年では、令和元年10月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成28年8月の閉伊川（宮古市）、小本川（岩泉町）の洪水など各河川で大規模な浸水被害が発生していることから、河川・海岸など防災事業に対する関心度は依然として高まっており、効果的な事業の進捗に努める必要がある。  
 ・県では、近年洪水被害が発生した河川や背後地に資産の集中している河川について重点的に整備を進めることとしており、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることを当面の目標として、段階的な整備により治水安全度の向上を図ることとしている。  
 ・河川改修などのハード整備を進めているとともに、住民の迅速かつ円滑な避難を促すため、ソフト施策として水位計や河川監視カメラを設置のうえ、ホームページやメール等により洪水情報を提供しているほか、洪水浸水想定区域図の作成、市町村への洪水ハザードマップの作成支援を行っている。

ウ 施工地域における状況

・当事業区間は、近年では、平成11年、平成28年に洪水被害を受けているほか、沿川では住宅地や商業施設の集積により資産が集中していることから、地域住民の治水事業に対する関心も非常に高い。ソフト施策としては危機管理型水位計（閉伊川、近内川、山口川：R1）、簡易型河川監視カメラ（閉伊川：R2）を設置し、ホームページで公開しているほか、閉伊川を水位周知河川に指定し（H16、H30）、一定の水位を超えた際は水防管理者等に河川水位を通知し、必要に応じて報道機関の協力を求めて一般に周知するなどの対策を講じている。また、令和3年度に閉伊川の想定最大規模の浸水想定区域図をホームページで公開し、地域住民の円滑な避難を促している。

○中項目評価は、全国及び本県において、河川事業のあり方に係る議論や見直しの検討はないことから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 評点 (S39年度)	前回評価時 評点(A) (H29年度)	今回評価時 評点(B) (R4年度)	増減 (B)-(A)	備考
必要性	想定氾濫被害額	15	15 (720億円)	15 (1,144億円)	15 (744億円)	0	※1
	防護人口	5	5 (6.2千人)	5 (6.2千人)	5 (6.5千人)	0	
	公共施設・弱者施設	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	小学校
	輸送施設	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	鉄道、国道 県道、市道
重要性	総合計画上の位置付け	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
緊急性	過去10年間の水害被害実績	5	3 (207百万円)	0 (0百万円)	5 (1,103百万円)	5	H28 ※2
	過去10年間の被災回数	3	3 (3回)	0 (0回)	1 (1回)	1	H28 ※3
	他事業関連の有無	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	区画整理事業
	流下能力比	2	2 (50%未満)	2 (50%未満)	2 (50%未満)	0	
効率性	費用便益費(B/C)	40	40 (60.8)	40 (52.5)	40 (27.2)	0	※4
熟度	地元の要望	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	
	地元の協力	5	0 (無)	5 (有)	5 (有)	0	
計		100	93	92	98	6	(今回/前回) 107%

※1 想定氾濫被害額が減少した理由：  
 公共土木施設の評価額算定方法の変更による（治水経済調査マニュアル（案）（R2.4））  
 ※2、3 水害統計（H28）より（前回評価時点では数値が出ていなかったことによるもの）  
 ※4 B/Cが減少した理由：想定被害被害額の減少による

○ 費用便益分析

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル(案) 令和2年4月 国土交通省 (単位:百万円)

区 分		事業着手時 (基準年: S39年度)	前回評価時 (基準年: H29年度)	今回評価時 (基準年: R4年度)	備考
費用項目	建設費	384	20,906	28,956	※1
	維持管理費	49	1,584	1,988	※2
	総費用(C)	433	22,490	30,944	
便益項目	被害額の便益	26,291	1,179,800	841,621	※3
	残存価値	4	18	14	※4
	総便益(B)	26,295	1,179,818	841,635	
費用便益比(B/C)		60.8	52.5	27.2	

※1 「建設費」の増は、現在価値化による。(事業費の増減は無し)

※2 「維持管理費」の増は、前回評価以降の整備促進及び現在価値化による。

※3 「被害額の便益」の減は、治水経済調査マニュアル改訂に伴い公共土木施設の評価額算定方法が変更となり公共土木施設等被害額が減少となったほか、一般資産が減少したことによる。

※4 「残存価値」の減は、整備期間の延長及び現在価値化による。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・近内地区土地区画整理事業  
 施行期間:平成元年度～令和4年度(清算期間含む)  
 施行面積:32.9ha  
 河川用地:換地により河川用地面積3.4haを確保した。  
 進捗率:100%(平成30年4月27日換地処分公告)

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が、前回再評価時の90%以上であることから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 D
- ・希少野生動植物生息の有無 あり
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 あり

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 付議している

① 主な助言内容

- ・植生:在来種による緑化を図ること。
- ・魚類:生息空間の確保に努めること。

② 対応状況

- ・植生については、在来種の植生可能な護岸ブロックにより施工するとともに、ブロック中詰土及び覆土に現場発生土を利用し、植生の効果が徐々に現れている。
- ・魚類については、滞筋に変化をつけるなどの工夫をしている。

≪その他の環境配慮に要する事業費等≫

○近内川

- ・環境に配慮した護岸を設置した。  
 環境ブロック積工:C=約278百万円
- ・親水性を高めるため、階段工を設置した。  
 階段工:C=約2百万円

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って対応していることから「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

○中項目評価が、「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価は「AA」とした。

評 価 (AA) . A . B . C

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性  
 ○山口川  
 ・工法検討による削減額 約3百万円  
 (大型ブロック積工において、現場条件等を検討のうえアンカー式ブロック空積工法を採用予定)

(2) 代替案立案の可能性  
 ①代替案として考えられる他の事業手法・工法の比較検討結果  
 ・代替案として遊水地やダム、放水路等との組み合わせによる手法が考えられるが、流域の地形、土地利用状況、社会的・自然的影響を総合的に勘案し、河川改修による治水対策が妥当と判断している。  
 ②今後における代替案立案の可能性  
 ・現時点で予想される技術革新や社会情勢の大きな変更はないことから、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価 (対応方針案)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事業継続</div> <span style="margin: 0 10px;">・</span> <span style="margin: 0 10px;">要検討</span> <span style="margin: 0 10px;">・</span> <span style="margin: 0 10px;">中止</span>
(事業名) 閉伊川総合流域防災事業	
(事業継続、見直し継続、休止、中止)	

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況		(2)社会経済情勢			参考			
					進捗状況	計画変更	社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C		
S39	R14	5,730.0	3,892.0	68%	B B	b	b	AA	a	a	a	98	27.2

○総合評価に係るコメント

①再評価の総括  
 「事業の進捗状況等」については、事業期間を延伸するものの、事業計画に大幅な変更は無く、確実な竣工が見込まれることから、今後も事業を推進し、治水安全度の向上を図っていく。  
 「社会情勢等の変化」については「事業に関する社会経済情勢」「自然環境との状況」「事業に関する評価指標の推移」に関して大きな変化はないことから、今後も沿川住民の生命及び財産を守るため、引き続き整備を進めていく必要がある。  
 以上のことから「事業継続」と評価したものである。

総合評価

大規模公共事業 再評価調書 (付表)

事業名	総合流域防災事業（河川）		補助・単独	担当部課名	県土整備部河川課
路線名等	二級河川閉伊川水系閉伊川 <sup>へいがわ</sup>	地区名	-	市町村	宮古市
<p><b>1 現在までの事業の経緯等</b></p> <p>昭和39年度 国庫補助による事業採択          平成13年度 いわたの川づくりプラン懇談会          平成13年度 第1回閉伊川水系流域懇談会          平成17年度 二級河川閉伊川水系河川整備基本方針策定          平成17年度 二級河川閉伊川河川整備計画策定          平成19年度 二級河川近内川筋河川改修工事説明会          平成20年度 二級河川近内川筋河川改修工事説明会          平成21年度 二級河川近内川筋近内地区河川改修工事の計画変更に関する住民説明会</p> <p><b>2 事業を取り巻く社会経済情勢等の変化の具体的説明</b></p> <p>近年の社会経済情勢から、治水対策事業予算は国、県とも縮減されてきているが、閉伊川支川の近内川では宮古市土地区画整理事業により市街化が進んでおり、地元から治水事業に対する強い促進要望が出されてきたところ、令和3年度に改修が完了した。</p> <p>閉伊川支川の山口川では河川沿いに住宅が密集しており、溢水による被害が甚大なものとなるため、治水対策を進める必要がある。          (近年の浸水被害)          ・平成11年7月12日～14日 建物被災41棟（内床下浸水23棟）、農地被災3.4ha、浸水面積12ha          ・平成28年8月28日～31日 建物被災194棟（内床下浸水191棟）、農地被災14ha、浸水面積149.1ha（内水被害）</p> <p><b>3 住民意見の状況とこれに対する対応</b></p> <p>今回審議を諮る閉伊川の事業計画については、「閉伊川河川整備計画」の策定に伴い開催した次の流域懇談会の場で説明を行い、住民の方々から意見や提言をいただいている。          閉伊川河川整備計画流域懇談会 1回（平成13年9月27日）          &lt;主な質問内容&gt;</p> <p>1. 最近、ちょっと雨が降ってもかなり水量が増えているような気がする。工事もかなり進んでいるようだが、（近内川の河川改修が）あと何年かかるのか教えていただきたい。          [回答]          (近内川の河川改修について)          1. 改修中の1km区間(全3.7kmのうち3.4kmまで)は平成20年頃までかかる見込みである。それより上流の区間は、その後に進めていくという計画になっております。</p> <p>この公聴会では、その他に維持管理等の要望もあったが、閉伊川の改修事業計画に対する反対意見等はなかった。</p>					

4 費用便益分析の詳細（算定方法、算出根拠等）

費用便益分析手法:治水経済調査マニュアル(案) 令和2年4月 国土交通省 (単位:百万円)

区分	事業着手時 (S39年度)	前回評価時 (H29年度)	今回評価時 (R4年度)		
				残事業B/C	
費用項目	①建設費	384	20,906	28,956	1,375
	②維持管理費	49	1,584	1,988	159
	③総費用(C) ①+②	433	22,490	30,944	1,534
便益項目	④被害額の便益	26,291	1,179,800	841,621	67,304
	⑤残存価値	4	18	14	4
	⑥総便益(B) ④+⑤	26,295	1,179,818	841,635	67,308
費用便益比(B/C) ⑥/③		60.8	52.5	27.2	43.9

①建設費：施設整備に要する費用（河川改修費）を整備期間、評価期間で現在価値化して合計したものである。基準年以前の費用は、物価変動を考慮した実質価値に換算した後に現在価値化している。

②維持管理費：毎年定期的に支出される除草等の費用で、完成した施設に要した事業費の0.5%を現在価値化して計上している。

④被害軽減の便益：施設整備によって想定される年平均被害軽減額を現在価値化して合計したものである。

⑤残存価値：評価対象期間終了時点における施設等の価値。構造物は価値を10%とし、構造物以外（堤防・用地など）は減価しないものとしている。

5 環境対策の具体的内容

再評価調書に記載のとおり

6 代替案（見直し案）の検討内容

再評価調書に記載のとおり



事業名：閉伊川総合流域防災事業  
 着手年度：昭和39年度  
 市町村名：宮古市

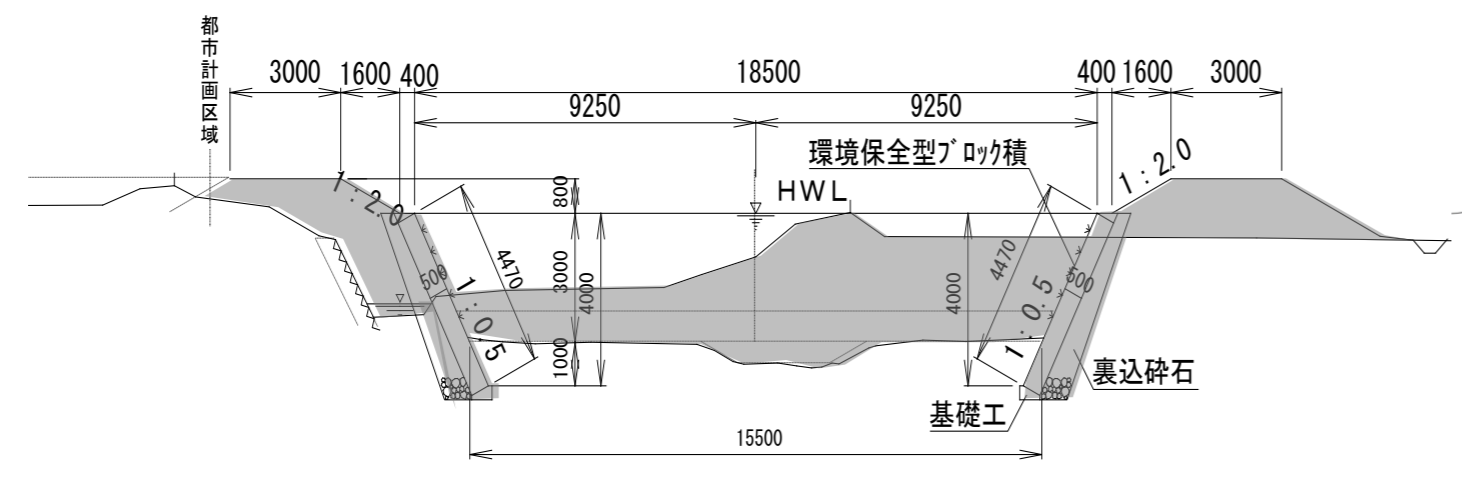
### 閉伊川 計画平面図



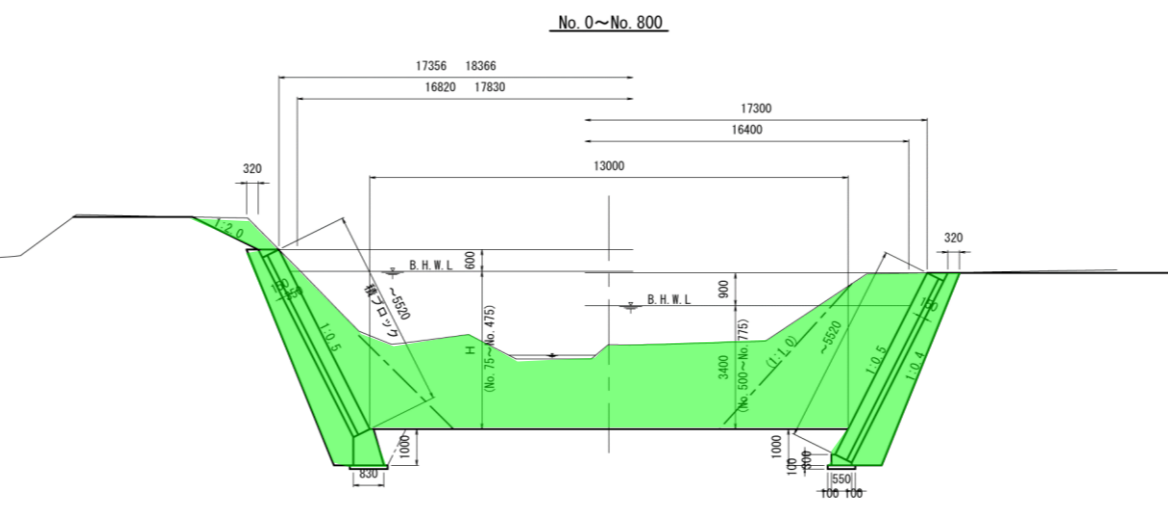
凡例  
 R3まで実施済  
 R4以降実施  
 関連事業 (R4年完了)

出典：オルソ画像

### 近内川標準断面図



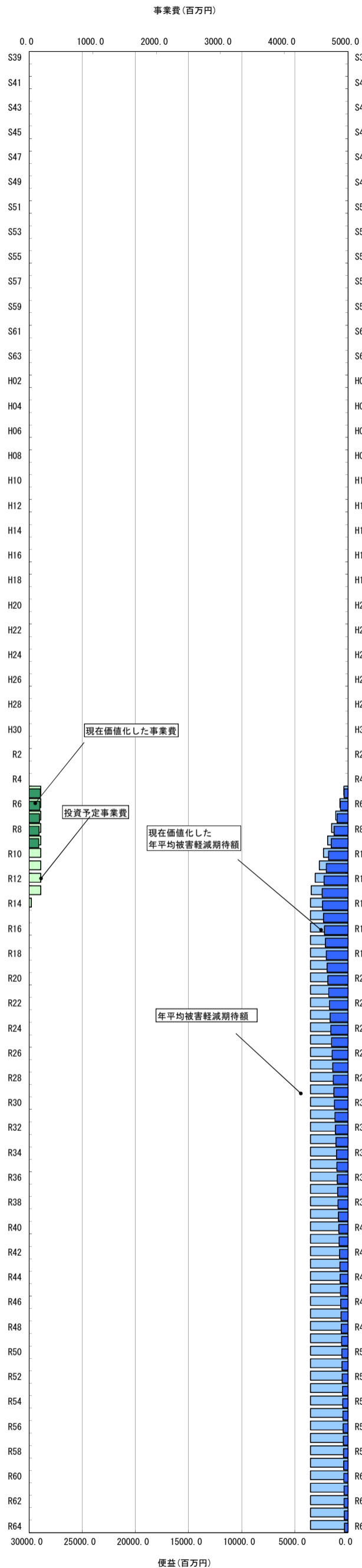
### 山口川標準断面図





年次	年度	t	現在 価値化 の 割引率	便 益 (百万円)							残存価値 ⑤	計 ④+③
				治水		建設費③			維持管理費④			
				便益	現在価値 ①	事業費	現在価値	治水 事業指数 (河川)	デフ レーター 換算	費用		
S39	-58	9.7260	16.9	164.7	8.0	409.0	20.7	19.0	0.0	0.4		
S40	-57	9.3519	52.9	495.0	17.0	793.5	21.8	20.0	0.1	1.2		
S41	-56	8.9922	99.5	894.9	22.0	919.8	23.4	21.5	0.2	2.1		
S42	-55	8.6464	167.3	1446.3	32.0	1199.3	25.1	23.1	0.4	3.4		
S43	-54	8.3138	253.5	2108.0	40.8	1396.2	26.4	24.3	0.6	5.0		
S44	-53	7.9941	359.4	2873.2	50.0	1525.9	28.5	26.2	0.8	6.8		
S45	-52	7.6866	465.3	3576.4	50.0	1357.6	30.8	28.3	1.1	8.4		
S46	-51	7.3910	613.5	4534.3	70.0	1753.6	32.1	29.5	1.4	10.7		
S47	-50	7.1067	850.6	6045.2	112.0	2510.1	34.5	31.7	2.0	14.3		
S48	-49	6.8333	986.1	6738.7	64.0	1091.3	43.6	40.1	2.3	15.9		
S49	-48	6.5705	1092.0	7175.1	50.0	678.2	52.7	48.4	2.6	16.9		
S50	-47	6.3178	1197.9	7568.0	50.0	641.2	53.6	49.3	2.8	17.9		
S51	-46	6.0748	1303.7	7920.0	50.0	574.7	57.5	52.8	3.1	18.7		
S52	-45	5.8412	1454.1	8493.5	71.0	744.6	60.6	55.7	3.4	20.1		
S53	-44	5.6165	1598.1	8975.5	68.0	637.3	65.2	59.9	3.8	21.2		
S54	-43	5.4005	1797.1	9705.1	94.0	777.9	71.0	65.3	4.2	22.9		
S55	-42	5.1928	1987.6	10321.4	90.0	654.4	77.7	71.4	4.7	24.4		
S56	-41	4.9931	2199.4	10981.6	100.0	684.2	79.4	73.0	5.2	25.9		
S57	-40	4.8010	2411.1	11575.8	100.0	649.7	80.4	73.9	5.7	27.3		
S58	-39	4.6164	2517.0	11619.3	50.0	313.1	80.2	73.7	5.9	27.4		
S59	-38	4.4388	2580.5	11454.3	30.0	178.0	81.4	74.8	6.1	27.0		
S60	-37	4.2681	2771.1	11827.1	90.0	519.2	80.5	74.0	6.5	27.9		
S61	-36	4.1039	3004.0	12328.0	110.0	607.1	80.9	74.4	7.1	29.1		
S62	-35	3.9461	3018.8	11912.4	7.0	36.3	82.9	76.2	7.1	28.1		
S63	-34	3.7943	3442.2	13061.0	200.0	969.1	85.2	78.3	8.1	30.8		
H01	-33	3.6484	3627.3	13233.6	87.4	386.7	89.7	82.4	8.6	31.3		
H02	-32	3.5081	3678.6	12904.9	24.3	99.3	93.3	85.8	8.7	30.5		
H03	-31	3.3731	3730.0	12581.9	24.3	93.1	95.7	88.0	8.8	29.7		
H04	-30	3.2434	3760.9	12198.0	14.6	53.3	96.5	88.7	8.9	28.8		
H05	-29	3.1187	3781.4	11793.0	9.7	34.2	96.2	88.4	8.9	27.8		
H06	-28	2.9987	3843.1	11524.3	29.1	98.7	96.3	88.5	9.1	27.2		
H07	-27	2.8834	4562.6	13155.6	339.8	1110.4	96.0	88.2	10.8	31.1		
H08	-26	2.7725	4603.7	12763.6	19.4	61.3	95.6	87.9	10.9	30.1		
H09	-25	2.6658	4710.6	12557.6	50.5	152.3	96.1	88.3	11.1	29.7		
H10	-24	2.5633	5819.6	14917.5	523.8	1552.4	94.1	86.5	13.7	35.2		
H11	-23	2.4647	5981.0	14741.4	76.2	219.5	93.1	85.6	14.1	34.8		
H12	-22	2.3699	6255.2	14824.3	129.5	359.5	92.9	85.4	14.8	35.0		
H13	-21	2.2788	6557.7	14943.4	142.9	390.9	90.6	83.3	15.5	35.3		
H14	-20	2.1911	6791.6	14881.2	110.5	294.6	89.4	82.2	16.0	35.1		
H15	-19	2.1068	6993.2	14733.7	95.2	244.2	89.4	82.2	16.5	34.8		
H16	-18	2.0258	7073.9	14330.4	38.1	93.6	89.7	82.4	16.7	33.8		
H17	-17	1.9479	7192.6	14010.4	56.0	131.7	90.2	82.9	17.0	33.1		
H18	-16	1.8730	7287.4	13649.1	44.8	100.0	91.2	83.8	17.2	32.2		
H19	-15	1.8009	7295.4	13138.6	3.8	8.1	92.6	85.1	17.2	31.0		
H20	-14	1.7317	7307.5	12654.3	5.7	11.3	95.4	87.7	17.3	29.9		
H21	-13	1.6651	7351.9	12241.4	21.0	41.1	92.4	84.9	17.4	28.9		
H22	-12	1.6010	7370.0	11799.7	8.6	16.1	92.5	85.0	17.4	27.9		
H23	-11	1.5395	7370.0	11345.8	0.0	0.0	94.8	87.1	17.4	26.8		
H24	-10	1.4802	7370.0	10909.4	0.0	0.0	94.5	86.9	17.4	25.8		
H25	-9	1.4233	7561.3	10762.1	90.4	145.0	96.5	88.7	17.9	25.4		
H26	-8	1.3686	7566.2	10354.9	2.3	3.4	99.7	91.6	17.9	24.5		
H27	-7	1.3159	7642.7	10057.2	36.1	51.7	100.0	91.9	18.0	23.7		
H28	-6	1.2653	7652.5	9682.8	4.6	6.3	100.6	92.5	18.1	22.9		
H29	-5	1.2167	7746.3	9424.5	44.3	57.0	102.9	94.6	18.3	22.3		
H30	-4	1.1699	7804.9	9130.6	27.7	33.1	106.5	97.9	18.4	21.6		
R1	-3	1.1249	7875.3	8858.7	33.3	37.4	108.8	100.0	18.6	20.9		
R2	-2	1.0816	8017.8	8672.0	67.3	72.8	108.8	100.0	18.9	20.5		
R3	-1	1.0400	8017.8	8338.5	0.0	0.0	108.8	100.0	18.9	19.7		
R4	0	1.0000	8017.8	8017.8	0.0	0.0	108.8	100.0	18.9	18.9		
R5	1	0.9615	8402.7	8079.5	181.8	174.8			19.8	19.1		
R6	2	0.9246	8787.7	8124.7	181.8	168.1			20.8	19.2		
R7	3	0.8890	9172.7	8154.5	181.8	161.6			21.7	19.3		
R8	4	0.8548	9557.6	8169.9	181.8	155.4			22.6	19.3		
R9	5	0.8219	9942.6	8172.1	181.8	149.4			23.5	19.3		
R10	6	0.7903	10327.6	8162.0	181.8	143.7			24.4	19.3		
R11	7	0.7599	10712.5	8140.6	181.8	138.2			25.3	19.2		
R12	8	0.7307	11097.5	8108.8	181.8	132.9			26.2	19.1		
R13	9	0.7026	11482.5	8067.4	181.8	127.7			27.1	19.1		
R14	10	0.6756	11556.0	7806.8	34.7	23.5			27.3	18.4		
R15	11	0.6496	11556.0	7506.6					27.3	17.7		
R16	12	0.6246	11556.0	7217.8					27.3	17.0		
R17	13	0.6006	11556.0	6940.2					27.3	16.4		
R18	14	0.5775	11556.0	6673.3					27.3	15.8		
R19	15	0.5553	11556.0	6416.6					27.3	15.2		
R20	16	0.5339	11556.0	6169.8					27.3	14.6		
R21	17	0.5134	11556.0	5932.5					27.3	14.0		
R22	18	0.4936	11556.0	5704.4					27.3	13.5		
R23	19	0.4746	11556.0	5485.0					27.3	13.0		
R24	20	0.4564	11556.0	5274.0					27.3	12.5		
R25	21	0.4388	11556.0	5071.2					27.3	12.0		
R26	22	0.4220	11556.0	4876.1					27.3	11.5		
R27	23	0.4057	11556.0	4688.6					27.3	11.1		
R28	24	0.3901	11556.0	4508.2					27.3	10.6		
R29	25	0.3751	11556.0	4334.8					27.3	10.2		
R30	26	0.3607	11556.0	4168.1					27.3	9.8		
R31	27	0.3468	11556.0	4007.8					27.3	9.5		
R32	28	0.3335	11556.0	3853.7					27.3	9.1		
R33	29	0.3207	11556.0	3705.4					27.3	8.8		
R34	30	0.3083	11556.0	3562.9					27.3	8.4		
R35	31	0.2965	11556.0	3425.9					27.3	8.1		
R36	32	0.2851	11556.0	3294.1					27.3	7.8		
R37	33	0.2741	11556.0	3167.4					27.3	7.5		
R38	34	0.2636	11556.0	3045.6					27.3	7.2		
R39	35	0.2534	11556.0	2928.5					27.3	6.9		
R40	36	0.2437	11556.0	2815.8					27.3	6.6		
R41	37	0.2343	11556.0	2707.5					27.3	6.4		
R42	38	0.2253	11556.0	2603.4					27.3	6.1		
R43	39	0.2166	11556.0	2503.3					27.3	5.9		
R44	40	0.2083	11556.0	2407.0					27.3	5.7		
R45	41	0.2003	11556.0	2314.4					27.3	5.5		
R46	42	0.1926	11556.0	2225.4					27.3	5.3		
R47	43	0.1852	11556.0	2139.8					27.3	5.1		
R48	44	0.1780	11556.0	2057.5					27.3	4.9		
R49	45	0.1712	11556.0	1978.4					27.3	4.7		
R50	46	0.1646	11556.0	1902.3					27.3	4.5		
R51	47	0.1583	11556.0	1829.1					27.3	4.3		
R52	48	0.1522	11556.0	1758.8					27.3	4.2		
R53	49	0.1463	11556.0	1691.1					27.3	4.0		
R54	50	0.1407	11556.0	1626.1					27.3	3.8		
R55	51	0.1353	11556.0	1563.5					27.3	3.7		
R56	52	0.1301	11556.0	1503.4					27.3	3.6		
R57	53	0.1251	11556.0	1445.6					27.3	3.4		
R58	54	0.1203										

年次	年度	t	現在 価値化 の 割引率	便 益 (百万円)						残存価値 ⑤	計 ④+③
				治水		建設費③		維持管理費④			
				便益	現在価値 ①	事業費	現在価値	治水 事業指数 (河川)	デフ レーター 換算		
	S39	-58	9.7260								
	S40	-57	9.3519								
	S41	-56	8.9922								
	S42	-55	8.6464								
	S43	-54	8.3138								
	S44	-53	7.9941								
	S45	-52	7.6866								
	S46	-51	7.3910								
	S47	-50	7.1067								
	S48	-49	6.8333								
	S49	-48	6.5705								
	S50	-47	6.3178								
	S51	-46	6.0748								
	S52	-45	5.8412								
	S53	-44	5.6165								
	S54	-43	5.4005								
	S55	-42	5.1928								
	S56	-41	4.9931								
	S57	-40	4.8010								
	S58	-39	4.6164								
	S59	-38	4.4388								
	S60	-37	4.2681								
	S61	-36	4.1039								
	S62	-35	3.9461								
	S63	-34	3.7943								
	H01	-33	3.6484								
	H02	-32	3.5081								
	H03	-31	3.3731								
	H04	-30	3.2434								
	H05	-29	3.1187								
	H06	-28	2.9987								
	H07	-27	2.8834								
	H08	-26	2.7725								
	H09	-25	2.6658								
	H10	-24	2.5633								
	H11	-23	2.4647								
	H12	-22	2.3699								
	H13	-21	2.2788								
	H14	-20	2.1911								
	H15	-19	2.1068								
	H16	-18	2.0258								
	H17	-17	1.9479								
	H18	-16	1.8730								
	H19	-15	1.8009								
	H20	-14	1.7317								
	H21	-13	1.6651								
	H22	-12	1.6010								
	H23	-11	1.5395								
	H24	-10	1.4802								
	H25	-9	1.4233								
	H26	-8	1.3686								
	H27	-7	1.3159								
	H28	-6	1.2653								
	H29	-5	1.2167								
	H30	-4	1.1699								
	R1	-3	1.1249								
	R2	-2	1.0816								
	R3	-1	1.0400								
	R4	0	1.0000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	1	0.9615	385.0	370.2	181.8	174.8	0.9	0.9		
	R6	2	0.9246	769.9	711.9	181.8	168.1	1.8	1.7		
	R7	3	0.8890	1154.9	1026.7	181.8	161.6	2.7	2.4		
	R8	4	0.8548	1539.9	1316.3	181.8	155.4	3.6	3.1		
	R9	5	0.8219	1924.8	1582.1	181.8	149.4	4.5	3.7		
	R10	6	0.7903	2309.8	1825.5	181.8	143.7	5.5	4.3		
	R11	7	0.7599	2694.8	2047.8	181.8	138.2	6.4	4.8		
	R12	8	0.7307	3079.7	2250.3	181.8	132.9	7.3	5.3		
	R13	9	0.7026	3464.7	2434.3	181.8	127.7	8.2	5.7		
	R14	10	0.6756	3538.2	2390.3	34.7	23.5	8.4	5.6		
	R15	11	0.6496	3538.2	2298.4			8.4	5.4		
	R16	12	0.6246	3538.2	2210.0			8.4	5.2		
	R17	13	0.6006	3538.2	2125.0			8.4	5.0		
	R18	14	0.5775	3538.2	2043.2			8.4	4.8		
	R19	15	0.5553	3538.2	1964.7			8.4	4.6		
	R20	16	0.5339	3538.2	1889.1			8.4	4.5		
	R21	17	0.5134	3538.2	1816.4			8.4	4.3		
	R22	18	0.4936	3538.2	1746.6			8.4	4.1		
	R23	19	0.4746	3538.2	1679.4			8.4	4.0		
	R24	20	0.4564	3538.2	1614.8			8.4	3.8		
	R25	21	0.4388	3538.2	1552.7			8.4	3.7		
	R26	22	0.4220	3538.2	1493.0			8.4	3.5		
	R27	23	0.4057	3538.2	1435.6			8.4	3.4		
	R28	24	0.3901	3538.2	1380.3			8.4	3.3		
	R29	25	0.3751	3538.2	1327.3			8.4	3.1		
	R30	26	0.3607	3538.2	1276.2			8.4	3.0		
	R31	27	0.3468	3538.2	1227.1			8.4	2.9		
	R32	28	0.3335	3538.2	1179.9			8.4	2.8		
	R33	29	0.3207	3538.2	1134.5			8.4	2.7		
	R34	30	0.3083	3538.2	1090.9			8.4	2.6		
	R35	31	0.2965	3538.2	1048.9			8.4	2.5		
	R36	32	0.2851	3538.2	1008.6			8.4	2.4		
	R37	33	0.2741	3538.2	969.8			8.4	2.3		
	R38	34	0.2636	3538.2	932.5			8.4	2.2		
	R39	35	0.2534	3538.2	896.6			8.4	2.1		
	R40	36	0.2437	3538.2	862.2			8.4	2.0		
	R41	37	0.2343	3538.2	829.0			8.4	2.0		
	R42	38	0.2253	3538.2	797.1			8.4	1.9		
	R43	39	0.2166	3538.2	766.5			8.4	1.8		
	R44	40	0.2083	3538.2	737.0			8.4	1.7		
	R45	41	0.2003	3538.2	708.6			8.4	1.7		
	R46	42	0.1926	3538.2	681.4			8.4	1.6		
	R47	43	0.1852	3538.2	655.2			8.4	1.5		
	R48	44	0.1780	3538.2	630.0			8.4	1.5		
	R49	45	0.1712	3538.2	605.7			8.4	1.4		
	R50	46	0.1646	3538.2	582.4			8.4	1.4		
	R51	47	0.1583	3538.2	560.0			8.4	1.3		
	R52	48	0.1522	3538.2	538.5			8.4	1.3		
	R53	49	0.1463	3538.2	517.8			8.4	1.2		
	R54	50	0.1407	3538.2	497.9			8.4	1.2		
	R55	51	0.1353	3538.2	478.7			8.4	1.1		
	R56	52	0.1301	3538.2	460.3			8.4	1.1		
	R57	53	0.1251	3538.2	442.6			8.4	1.0		
	R58	54	0.1203	3538.2	425.6			8.4	1.0		
	R59	55	0.1157	3538.2	409.2			8.4	1.0		
	R60	56	0.1112	3538.2	393.5			8.4	0.9		
	R61	57	0.1069	3538.2	378.3			8.4	0.9		
	R62	58	0.1028	3538.2	363.8			8.4	0.9		
	R63	59	0.0989	3538.2	349.8			8.4	0.8		
	R64	60	0.0951	3538.2	336.3			8.4	0.8		
合計				67,304	1,671	1,375		159	4	1,534	



年平均被害軽減期待値	3,538	建設費	1,375
年便益の総和	67,304	維持管理費	159
残存価値	4		
築堤・掘削			
護岸等構造物			
用地費			
総便益B	67,308	(年便益+残存価値)	
総費用C	1,534	(建設費+維持管理費)	
B/C	43.9		

1 = (築堤・掘削の総費用/1.10)/(1+0.04)<sup>s-40</sup> = 300.4/1.10/(1+0.04)<sup>118</sup> × 0.31 s: 整備期間  
 1 = (護岸等構造物の総費用/1.10) × 0.1/(1+0.04)<sup>s-49</sup> = 3516.2/1.10 × 0.1/(1+0.04)<sup>118</sup> × 0.31 s: 整備期間  
 2 = (用地費の総費用)/(1+0.04)<sup>s-49</sup> = 823.1/(1+0.04)<sup>118</sup> × 0.31 s: 整備期間

注1 毎年の維持管理費は、河川分の事業費の0.5%とした。  
 注2 事業費は、すべて構造物とし、消費税を控除した。  
 注3 維持費は、消費税を控除した。



# 大規模事業再評価の概要

## 閉伊川総合流域防災事業

令和4年6月13日

岩手県県土整備部河川課

# 事業概要

## 位置図



## 事業内容

閉伊川総合流域防災事業（宮古市）

事業延長 6, 475 m

（内訳） 閉伊川 L = 1,000 m

近内川 L = 3,700 m

山口川 L = 1,775 m

総事業費 5, 730 百万円

事業期間 昭和39年度～令和14年度

（前回評価時：～令和7年度）

治水安全度 閉伊川 1 / 100

近内川・山口川 1 / 50



# 事業概要

## 流域の状況





# 事業概要

## 洪水の状況写真

平成11年7月12日～14日 大雨洪水

撮影：近内川



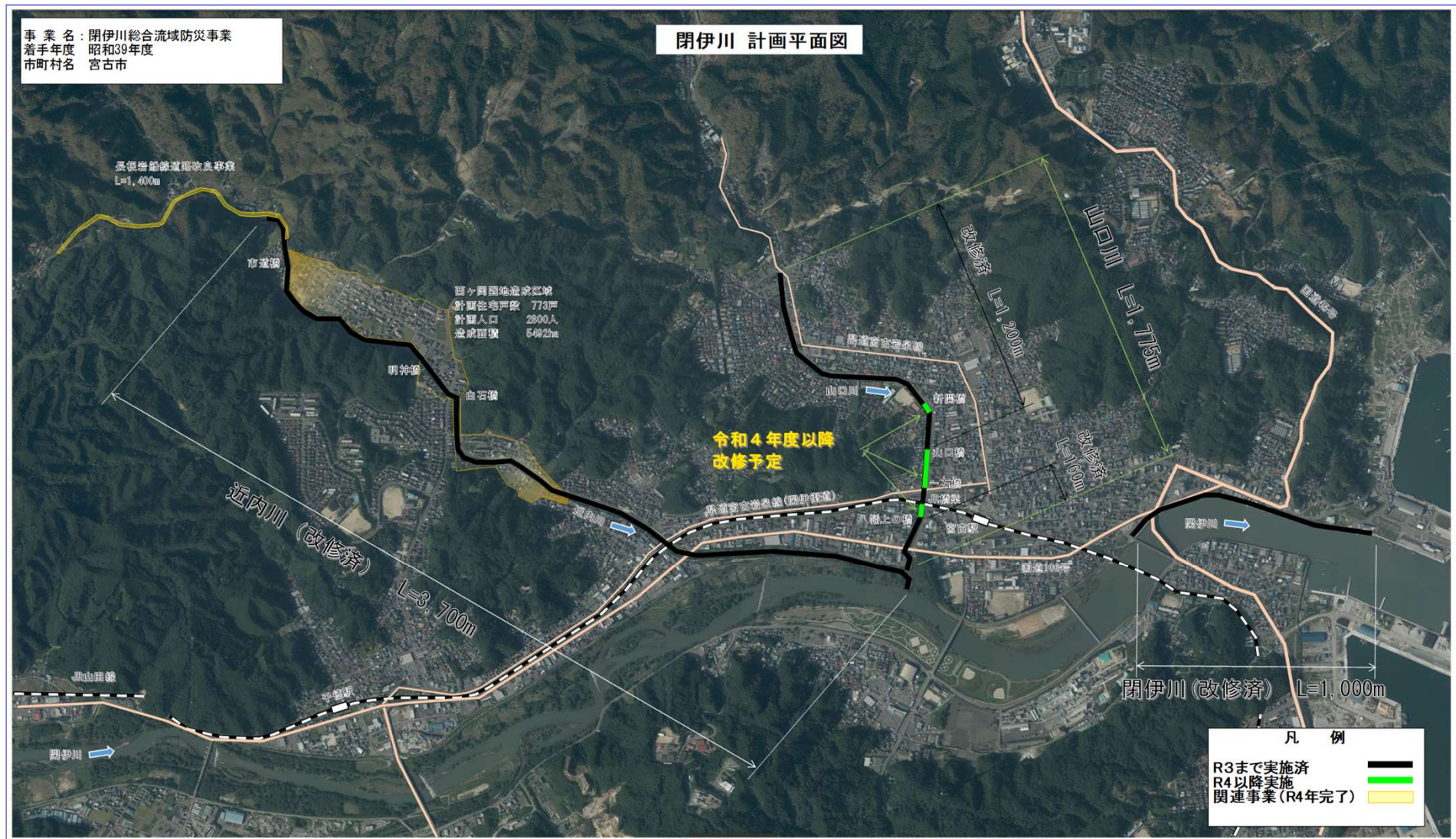
床下浸水 23棟  
農地被災 3.4ha  
浸水面積 12ha





# 事業の進捗状況等

## 平面図





# 事業の進捗状況等

平成11年 7月12日～14日 大雨洪水



とよがはな

近内川 豊ヶ鼻橋より下流を見る

平成28年 8月31日 台風10号



痕跡



近内川 L=3,700m

## (1) 事業の進捗状況 (中項目評価)

### ○未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し

- ・事業期間の延伸は、県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算を重点的に配分する必要があることによるもの。
- ・今後も予算確保に努めるとともに、工事実施に当たってはコスト縮減などに取り組んでいく。
- ・閉伊川、近内川の改修が完了し、一定の治水効果は発現している状況。山口川の事業進捗が図られるまでの洪水に対し、住民の避難行動を促すため、令和元年度に危機管理側水位計を設置しホームページ上で水位情報を公開しているほか、今後、山口川の洪水浸水想定区域図の作成に取り組むこととしている。



- ・県内に多発する洪水被害への緊急対応等への予算の重点的な配分のなど、本事業の進捗を阻害する要因はあるものの、一定の期間等を要することにより解決できる見込みであり、竣工の見通しがあることから「b」とした。

「事業計画の進捗状況」の中項目評価

a ・ **b** ・ c



# 事業の進捗状況等

## (2) 事業計画の変更の有無及び内容 (中項目評価)

- ・施工区間や主要な工事内容の変更はなし。
- ・事業完了年度: 令和7年度 ⇒ 令和14年度に延伸



- ・変更の内容が施工区間や主要な工事内容の変更ではなく、事業期間に関する変更であり、大幅な変更ではないため「b」とした。

「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価	a ・ <b>b</b> ・ c
------------------------	------------------

## 事業の進捗状況等(大項目評価)

- ・中項目評価が「b」、「b」であることから、大項目評価を「BB」とした

「事業の進捗状況等」の大項目評価	AA ・ A ・ <b>BB</b> ・ B ・ C
------------------	----------------------------

# 社会経済情勢等の変化

## (1) 事業に関する社会経済情勢 (中項目評価)

・本事業のあり方についての議論や見直しの検討なし ⇒「a」とした

「事業計画に関する社会経済情勢」の中項目評価	(a) ・ b ・ c
------------------------	-------------

## (2) 事業に関する評価指標の推移(中項目評価)

・各評価指標の評点の合計が、事業着手時の90%以上 ⇒「a」とした

評価指標	配点	事業着手時 評点	前回再評価 時評点(A)	今回再評価 時評点(B)	増減 (B)-(A)	備考
必要性	想定氾濫被害額、防護人口、 公共施設・弱者施設、輸送施設	30点	30点	30点		
重要性	総合計画上の位置付け	5点	5点	5点		
緊急性	過去10年間の水害被害実績、回数 他事業関連の有無、流下能力比	15点	13点	13点	6点	H28
効率性	費用便益比 (B/C)	40点	40点	40点		前回 B/C : 52.5 今回 B/C : 27.2
熟度	地元要望、地元協力	10点	5点	10点		
計		100点	93点	98点	6点	今回評価/着手時 107%

「事業計画に関する評価指標の推移」の中項目評価	(a) ・ b ・ c
-------------------------	-------------

# 社会経済情勢等の変化

## B / Cの補足事項

(百万円)

区 分		事業着手時 (S39年度)	前回評価時 (H29年度)	今回評価時 (R4年度)	備考
費用項目	①建設費	384	20,906	28,956	※1
	②維持管理費	49	1,584	1,988	※2
	③総費用(C)	433	22,490	30,944	
便益項目	④被害額の便益	26,291	1,179,800	841,621	※3
	⑤残存価値	4	18	14	※4
	⑥総便益(B) ④+⑤	26,295	1,179,818	841,635	
費用便益比(B/C) ⑥/③		60.8	52.5	27.2	

- ※1 「建設費」の増は、現在価値化による。(事業費の増減は無し)
- ※2 「維持管理費」の増は、前回評価以降の整備促進及び現在価値化による。
- ※3 「被害額の便益」の減は、治水経済調査マニュアル改訂に伴い公共土木施設の評価額算定方法が変更となり公共土木施設等被害額が減少となったほか、一般資産が減少したことによる。
- ※4 「残存価値」の減は、整備期間の延長及び現在価値化による。

## 社会経済情勢等の変化

### (3) 自然環境の状況及び環境配慮事項(中項目評価)

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 「D」
  - ・埋蔵文化財包蔵地の有無 「あり」
  - ・希少野生動植物生息の有無 「あり」
  - ・希少野生動植物調査検討委員会への付議 「付議あり」
- 在来種による緑化を図ること。  
魚類の生息空間の確保に努めること。

### 自然環境の状況及び環境配慮事項(中項目評価)

- ・自然環境保全指針に沿って対応を検討していることから「a」とした

「自然環境等の状況及び環境配慮事項」の中項目評価 **a** ・ b ・ c

### 社会経済情勢等の変化(大項目評価)

- ・中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「AA」とした

「社会経済情勢等の変化」の大項目評価 **AA** ・ A ・ B ・ C

# コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

## (1) コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

- 工法検討による縮減額 約3百万円  
(大型ブロック積工において、現場条件等を検討のうえアンカー式ブロック空積工法を採用予定)

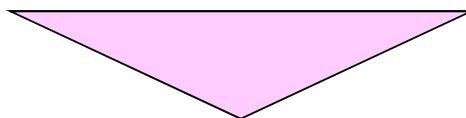
## (2) 代替案立案の可能性

- 代替案として考えられる遊水地やダムによる治水手法は、経済比較等を行い、河川改修による治水対策が妥当と判断している。
- 現時点で予想される技術革新や社会情勢の大きな変更はないことから、代替案立案の可能性はない。

## 総合評価

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資 事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考		
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
S39	R14	5,730	3,892	68	BB	b	b	AA	a	a	a	98	27.2

- 「事業の進捗状況等」については、事業期間を延伸するものの、事業計画に大幅な変更は無く、確実な竣工が見込まれることから、今後も事業を推進し、治水安全度の向上を図っていく。
- 「社会情勢等の変化」については、「事業に関する社会情勢」及び「自然環境との状況」に関して大きな変化はないところ。また、「事業に関する評価指標の推移」において、緊急性の指標が減少しているが、過去に大規模な洪水被害を受けており、沿川住民の生命及び財産を守るため、引き続き整備を進めていく必要がある。
- 事業の進捗等の評価が「BB」、社会経済情勢等の変化が「AA」。



**事業継続**

## 令和4年度大規模事業評価専門委員会 現地調査について

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事務局から**3案**提示させていただきたい。

①**(案の1～2)** 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、現地調査を実施。

<現地調査を実施する場合の行程案>

【案の1】審議案件のうち**紫波警察署・岩崎川**を調査(昼食なし)

県庁発 (12:55) →紫波警察署→岩崎川→県庁着 (15:55)

※閉伊川については、写真等で事業の進捗状況を確認することとする。

【案の2】審議案件**全て**を調査(昼食あり)

県庁発 (9:45) →岩崎川→紫波警察署→昼食→閉伊川→県庁着 (16:35)

②**(案の3)** 委員から事前に確認箇所等を聴取(書面等)し、会議室にて写真等による確認

<問題点>

①の場合：昼食を伴う場合があること、バスでの長時間の移動等を避けられないこと。

②の場合：写真等での確認に限界があること。



## 令和4年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案の1)

○開催日: 令和4年7月21日(木)

○対象事業

- ① 紫波警察署庁舎等整備事業(紫波町)
- ② 岩崎川広域河川改修事業(紫波町、矢巾町)

○行程

始			移動時間	0:05	着	13:10	移動時間	0:10	着	13:30	移動時間	0:15	着	14:05
県庁			0:15		盛岡駅		0:15		盛岡市 (東仙北)		0:25		紫波町	
車庫前									現地調査				現地調査	
出発									交通機動隊				紫波警察署	
発	12:55			発	13:15			発	13:40			発	14:20	

移動時間		0:30	着	14:35	移動時間	0:05	着	15:35	移動時間	0:15	着	15:55
0:15			矢巾町		0:30		盛岡駅		0:15		県庁	
			現地調査								帰庁	
			岩崎川								終	
発	15:05		発	15:40			終					

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

## 令和4年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案の2)

○開催日: 令和4年7月21日(木)

○対象事業

- ① 紫波警察署庁舎等整備事業(紫波町)
- ② 岩崎川広域河川改修事業(紫波町、矢巾町)
- ③ 閉伊川総合流域防災事業(宮古市)

○行程

		移動時間		0:05		移動時間		0:30		移動時間		0:20	
始		移動時間	0:15	着	10:00	移動時間	0:30	着	10:35	移動時間	0:15	着	11:20
	県庁				盛岡駅				矢巾町				紫波町
	車庫前								現地調査				現地調査
	出発								岩崎川				紫波警察署
発	9:45	発		発	10:05	発		発	11:05	発		発	11:40

		移動時間		1:00		移動時間		0:30		移動時間		0:05		移動時間		0:15	
移動時間	0:05	着	11:45	移動時間	1:30	着	14:15	移動時間	1:30	着	16:15	移動時間	0:15	着	16:35		
			紫波町				宮古市				盛岡駅				県庁		
			昼食				現地調査								帰庁		
							閉伊川										
発	12:45	発		発	14:45	発		発	16:20	発		終					

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。